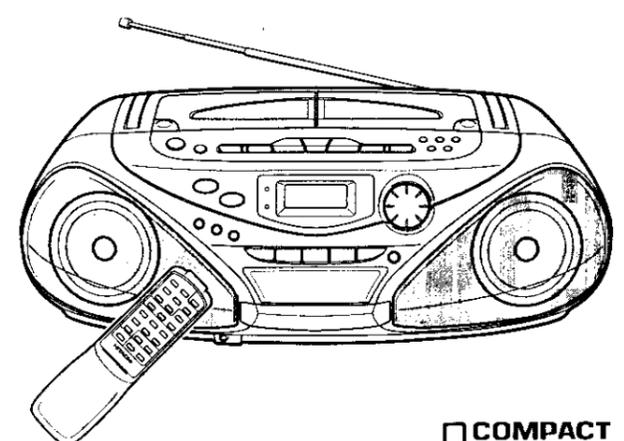


CDラジオカセットレコーダー CX-W270形 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは「いつでも見られる所」に「保証書」「ご相談窓口一覧表」とともに大切に保管してください。



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

はじめに	はじめに 準備 聞きかた 録音 時計部 その他
準備	
聞きかた	
録音	
時計部 (現在時刻、タイマー、スリープ)	
その他	

● 詳しい目次は1ページをごらんください。

お客様メモ：サービスを依頼される時、お役にたちます。

購入店名： _____ 電話 _____

ご購入年月日： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

—メモ— _____

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03) 3502-2111

目次

はじめに

目次	1
主な特長	2
安全上のご注意 (必ずお読みください)	3~9
各部のなまえ	10~15

準備

電源について	16~18
リモコンについて	19~20

聞きかた

共通な操作のしかた	21~23
知っておきたい予備知識	24~25
基本操作	
CD演奏	26
テープ再生	27
ラジオ・テレビ音声	28
CD演奏	
プログラム演奏	29~30
くり返し演奏/一時停止/スキップ/サーチ	31~32
テープ再生	
リレー再生	33
その他の機能	34~35
ラジオ・テレビ音声を聞く	
プリセット選局	36~37
その他の機能	38

録音

録音する	
CD → テープ	
ワンタッチ録音	39~40
バックスキップエディット録音	
/マニュアルエディット録音	41~42
テープ → テープ	
ワンタッチ録音	43~44
CD	
テープ	
ラジオ・テレビ音声	
} → テープ	
マニュアル録音	45~46
留守録音	47~49

時計部

時計の合わせかた	50
タイマーの使いかた	51~53
スリープの使いかた	54~55

その他

他の機器を接続して使う	56
故障?その前にちょっとこれを!	57
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	58
著作権について	59
仕様	60

主な特長

多機能CDプレーヤー

- お好みの曲をお好みの順番で演奏ができるプログラム演奏 [29~30ページ]
- 全曲またはプログラムした曲をくり返して演奏できるくり返し演奏 [31ページ]

簡単操作の録音・再生機能

- テープ再生時、曲の頭出しが簡単にできる自動頭出し(AMSS) [34ページ]
- 簡単操作のワンタッチ録音
 - 倍速/定速録音(CD → テープ)(テープ → テープ) [39~44ページ]
 - 順番を変えずに全曲を録音できるワンタッチ録音 [39~40ページ]
 - テープの終わりで途切れた曲を頭から録音し直すバックスキップエディット録音 [41~42ページ]
- 演奏中の曲を簡単に録音するこの曲ワンタッチ録音 [46ページ]

チューナー

- 放送局(周波数)をメモリーできるプリセット選局 [36~37ページ]
- TVサウンド(1ch~3ch)やFMステレオが楽しめる機能 [36~38ページ]

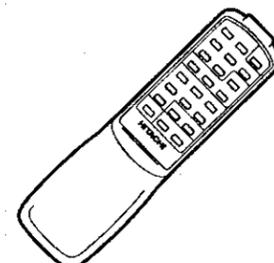
便利なタイマー機能

- おめざめ(ON-OFF)タイマー [51~53ページ]
- おやすみ(スリープ)タイマー [54~55ページ]
- 留守録音 [47~49ページ]

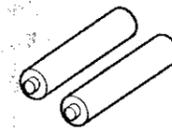
ワンタッチ機能

- ボタンを一つ押すだけで電源が入りCD演奏や放送がスタートするワンタッチ機能 [21ページ]

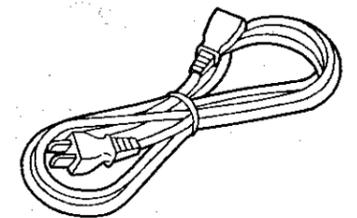
付属品をお確かめください



リモコン.....1
(RB-W270)



リモコン用単3形乾電池.....2



電源コード.....1

安全上のご注意 (必ずお読みください。)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- この「安全上のご注意」は、安全な使いかたを理解していただくため、記号(絵表示)を使って、わかりやすくまとめています。

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



指をはさまれないよう注意

△ の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。△ の中に具体的な注意内容が描かれています。(左の絵表示は指をはさまれないよう注意することを意味します。)



分解禁止

⊘ の記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。⊘ の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグをコンセントから抜け

● の記号は、しなければならない行為を示しています。● の中に具体的な指示内容が描かれています。(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)



左の絵表示は、必ず実行していただかなければならない内容を示しています。

お願い

この「安全上のご注意」のさし絵(マンガ)と本機とでは若干形状等が異なることがありますが、ご了承ください。

警告

■ 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態が起こったときは、直ちに使用を中止する

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。



電源プラグをコンセントから抜け



■ 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は使用しない

本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜け



■ 電源コードは傷んだまま使用しない

お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜け



■ 電源コードは加工したり、無理に折り曲げたりしない

電源コードは無理な使いかたをすると電源コードが破損して、火災・感電の原因となりますので次のようなことはしないでください。

- 途中でつぎ足したりして加工しない。
- 無理に折り曲げない。
- 重いものを乗せない。
- 傷をつけない。
- ねじったり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけて加熱しない。



禁止

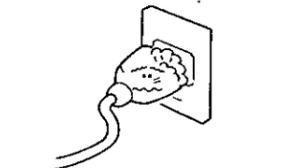


■ 電源プラグやコンセントにほこりを付着したまま使用しない

電源プラグやコンセントにほこりやゴミなどを付着したまま使用すると湿気を帯びて火災の原因となります。



禁止

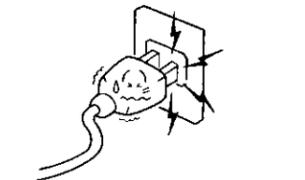


■ 中途半端な電源プラグのさし込み状態では使用しない

● 電源プラグのさし込みかたが不完全な状態で使用すると発熱し、火災の原因となります。
● たこ足配線の場合も、コードやプラグが発熱し、火災の原因となります。



禁止

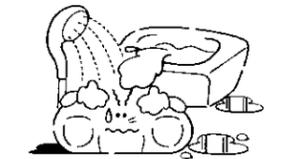


■ 水場では使用しない

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



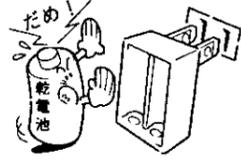
水場での使用禁止



警告

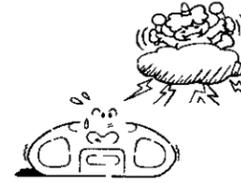
■ 乾電池は充電しない

乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



■ 屋外で使用中に雷が鳴り出したら使用しない

屋外で使用中の場合は、ロッドアンテナをたたんで安全な場所に避難してください。落雷の原因となります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグなどに触れない

雷が鳴り出したら、ロッドアンテナや電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



■ 本機のネジをはずして分解したり、改造したりしない

- 本機を分解や改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 内部の点検、調節、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



■ AC電源は交流(AC)100V以外使用しない

表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



■ 日本国以外では使用しない

本機をAC電源(交流100V)で使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



■ 本機はぬらさない

本機に水が入ったり、ぬらさないようにしてください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



■ 本機を落としたり、破損したりしたときは、そのまま使用しない

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

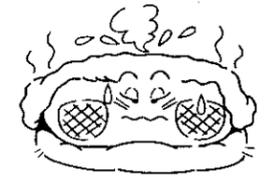


警告

■ 通風孔はふさがない

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの後部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

- 本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。



■ 通風孔やディスク、カセットテープ挿入口に異物を入れない

本機の通風孔やディスク、カセットテープの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)



■ 水などの入った容器を本機の上に置かない

- 本機の上に水の入った花瓶、コップ、薬品、容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。



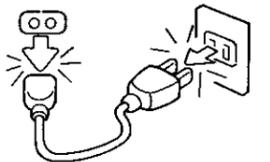
電源プラグをコンセントから抜く

■ 電池電源で使用する場合

電源コードはコンセントおよび本機の電源端子(AC INPUT)の両方とも抜いてください。コンセント側が接続されていると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く



■ 運転中、ヘッドホンは使用しない

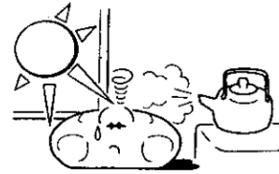
自動車・オートバイなどの運転中や自転車に乗りながらの場合は絶対にヘッドホンやイヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。



⚠ 注意

■ 置き場所に注意

- 調理台や加湿器のそばなど、また油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。



■ 不安定な場所には置かない

ぐらついた台や傾いた台、不安定な棚などには置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



■ 音量に注意

電源を切るときは音量を小さくしておいてください。ワンタッチ機能で電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



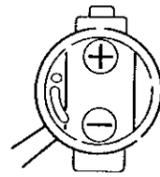
■ ヘッドホン(またはイヤホン)で聞く場合、音を大きくしすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



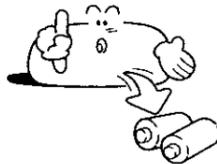
■ 乾電池の挿入に注意

- 電池を本機に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



■ 乾電池を入れたまま長期間放置しない

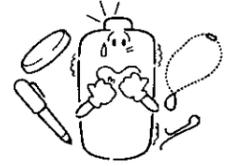
長期間(1ヵ月以上)使用しないとき、常時AC電源でご使用になるときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池装着部についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



⚠ 注意

■ 乾電池の携帯、保管について

電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス端子⊖の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



■ 使い切った乾電池を加熱したり、分解したりしない

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

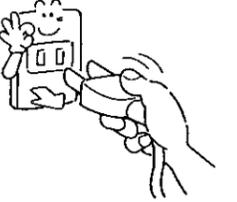


■ 長期間使用しない場合やお手入れの際の注意

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



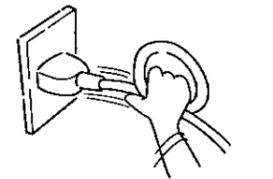
■ 内部の掃除について

内部の掃除はお買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。



■ 電源プラグを抜くときの注意

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

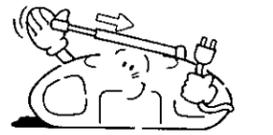


■ 持ち運びをする場合の注意

- 電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから、抜いてから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ロッドアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びするとロッドアンテナが引っかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



■ ディスクやカセットテープ挿入口には手を入れない

お子様がディスクやカセットテープ挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



指をはさまれ
ないよう注意



⚠ 注意

■ 変形やひび割れたディスクは使用しない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



■ レーザー光を見ない

レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは本機のそばに置かないでください。磁気が乱れて使用できなくなることがあります。



■ 長時間音が歪んだ状態で使用しないでください

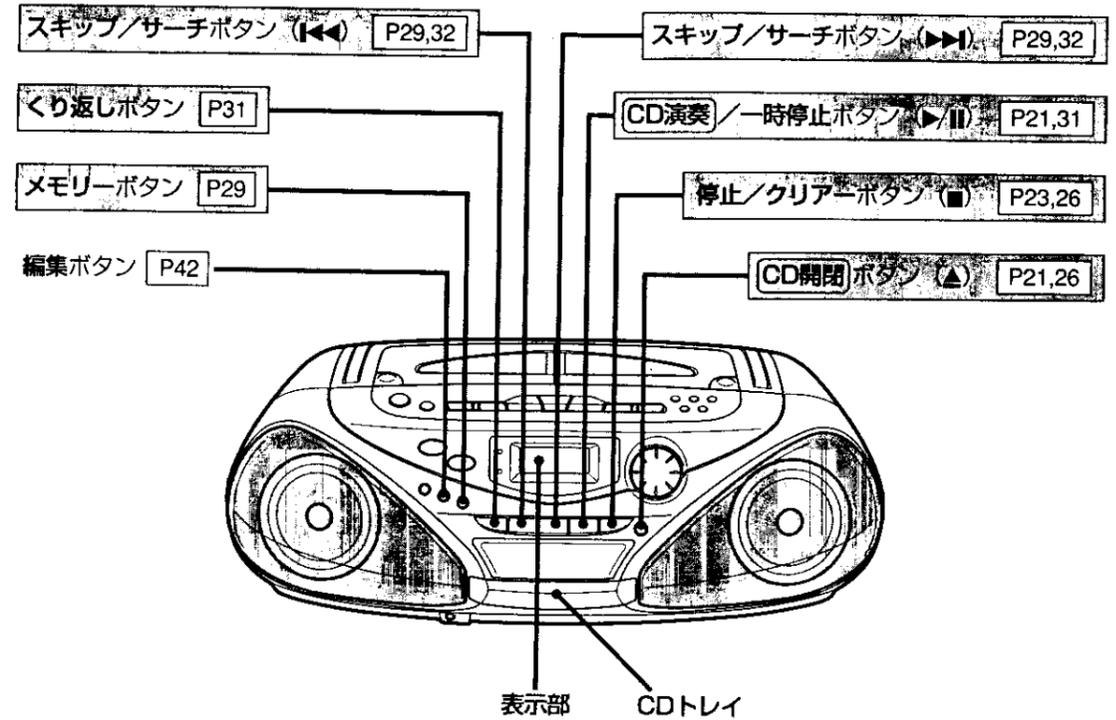
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



各部のなまえ

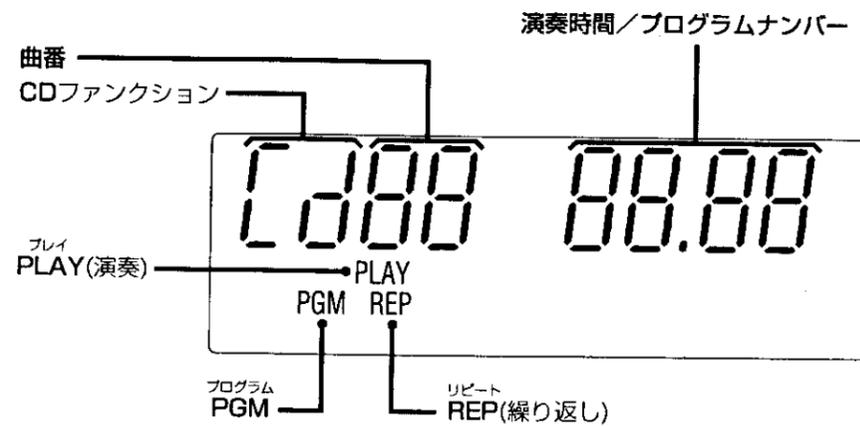
□ の所はリモコンでも操作できます

CDプレーヤー部

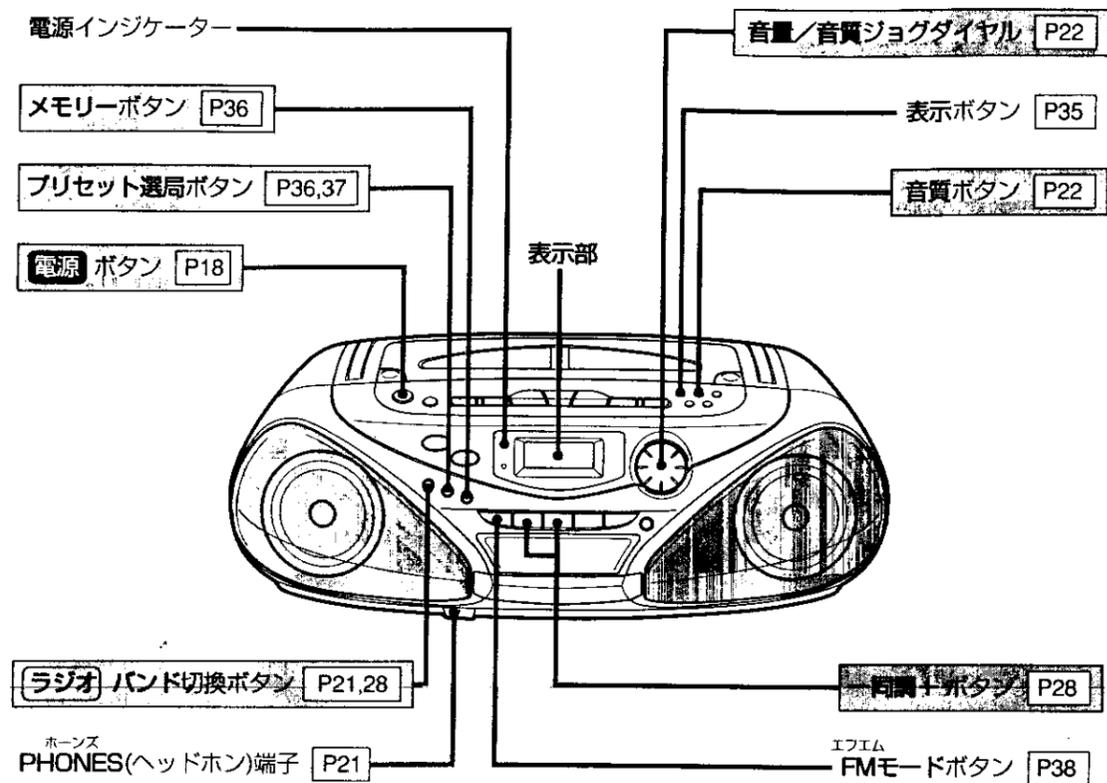


はじめに

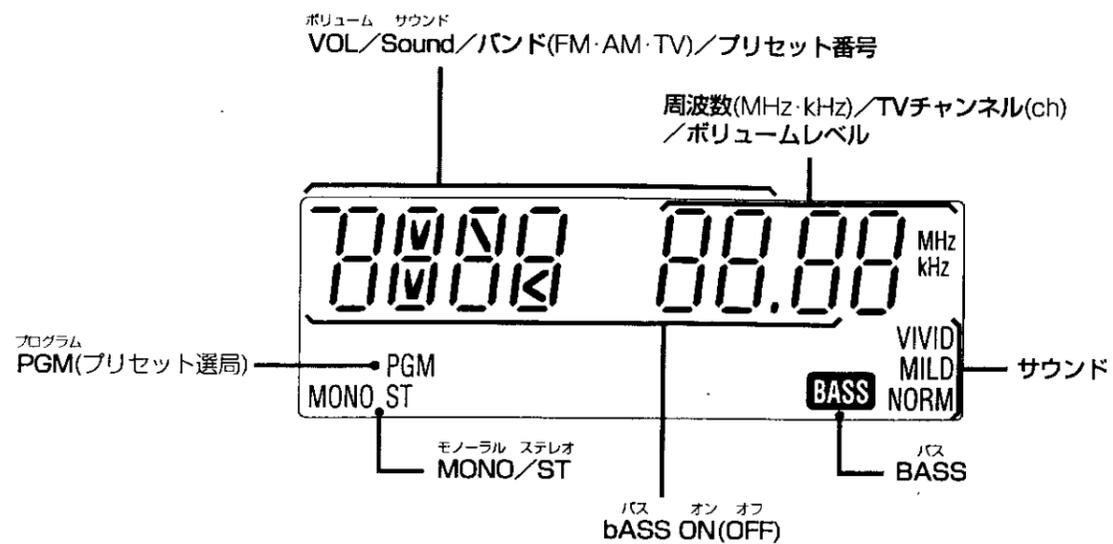
表示部



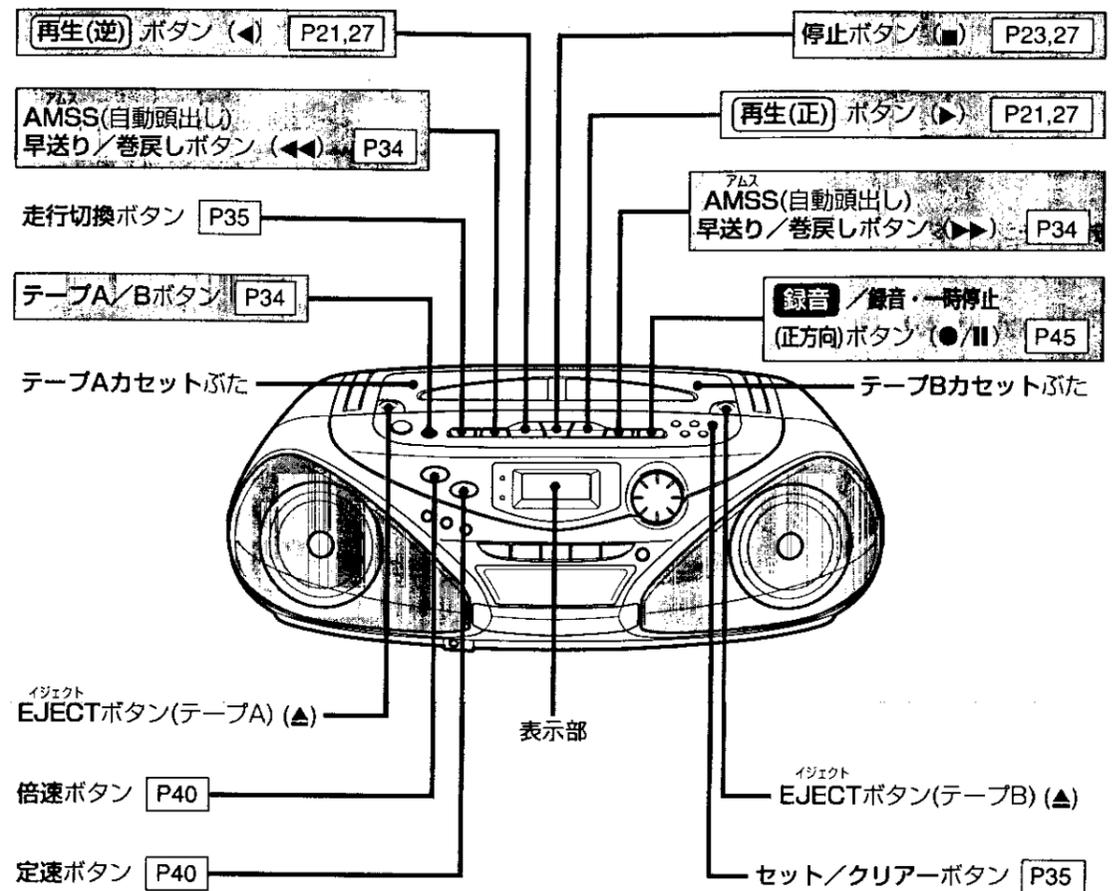
ラジオ/総合部



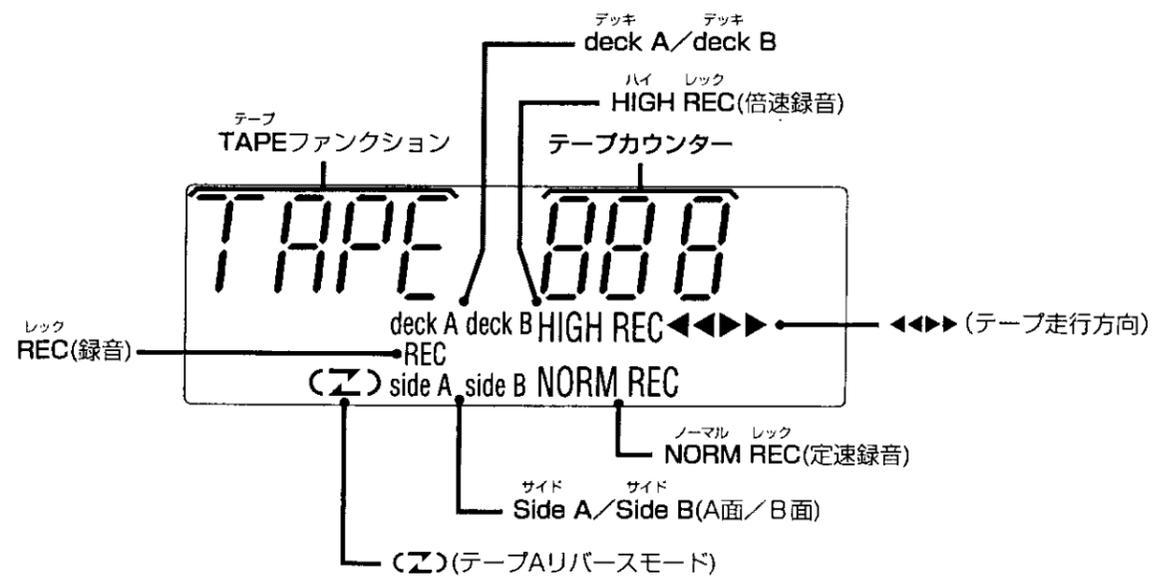
表示部



カセットテープ部



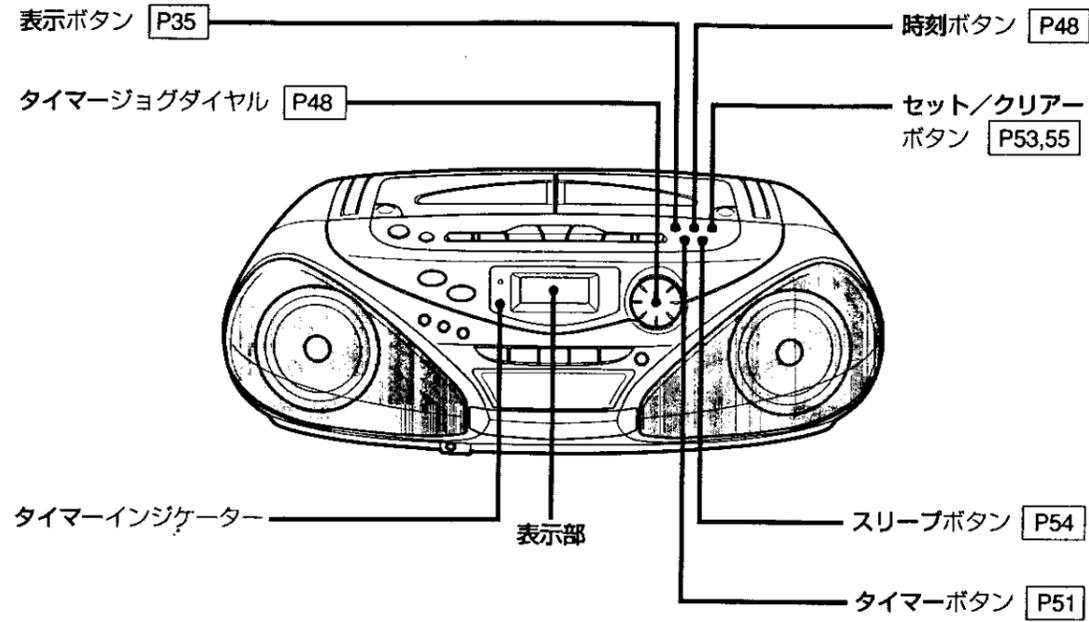
表示部



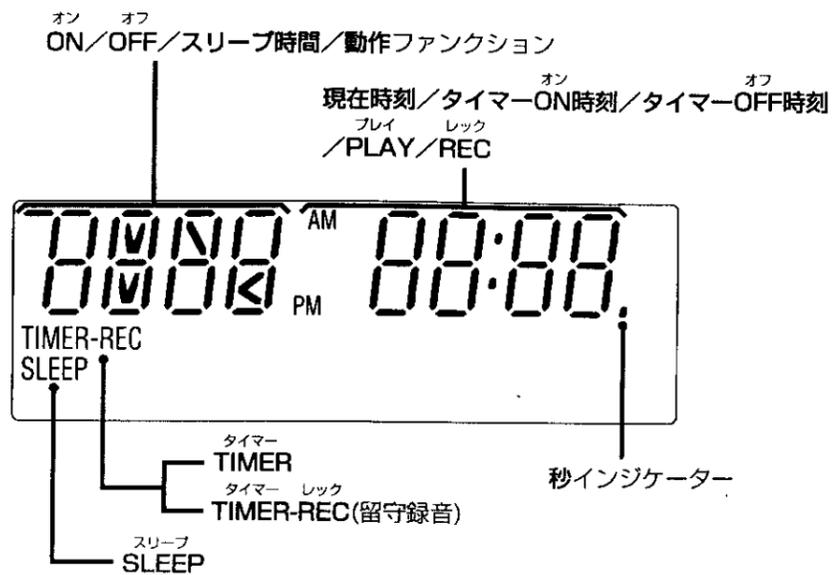
おまけ

各部のなまえ (つづき) □ の所はリモコンでも操作できます

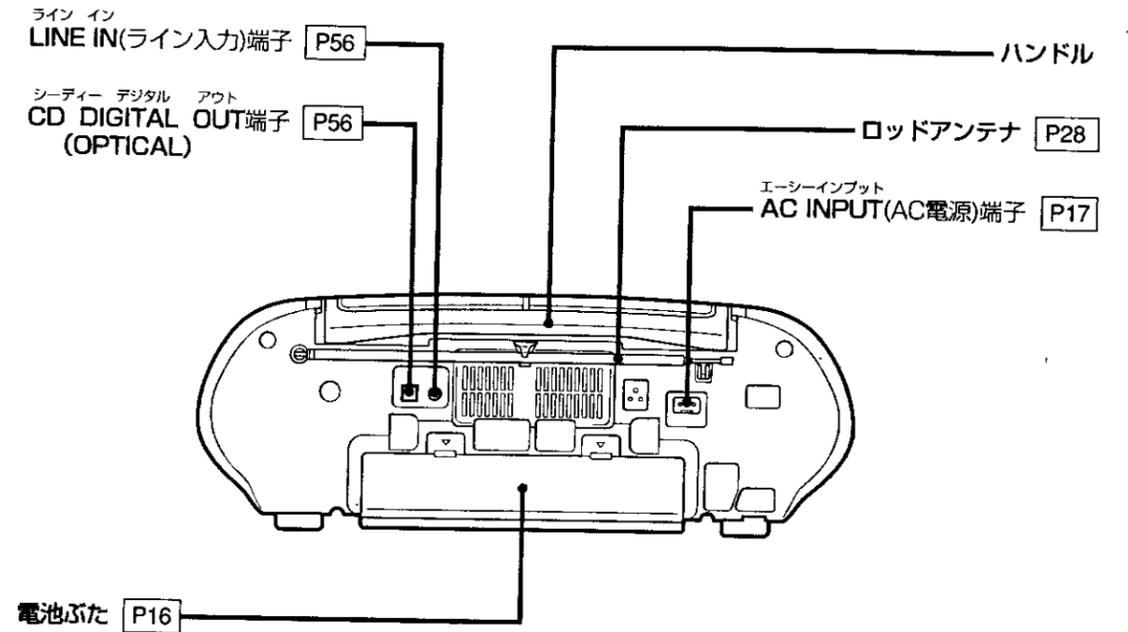
時計/タイマー部



表示部



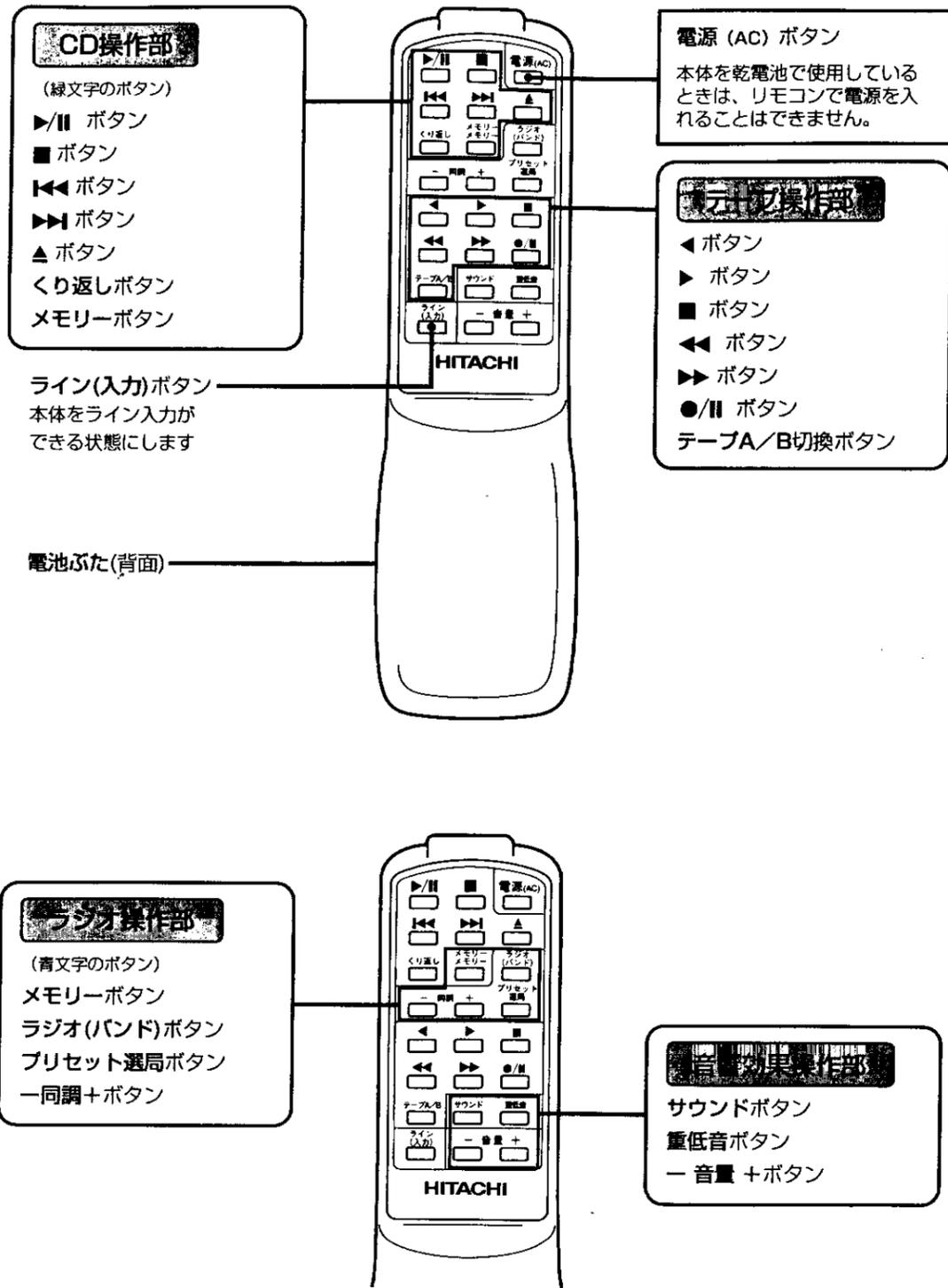
背面部



はじめに

各部のなまえ (つづき)

リモコン



「リモコンでできる操作」 19~20ページ もごらんください。

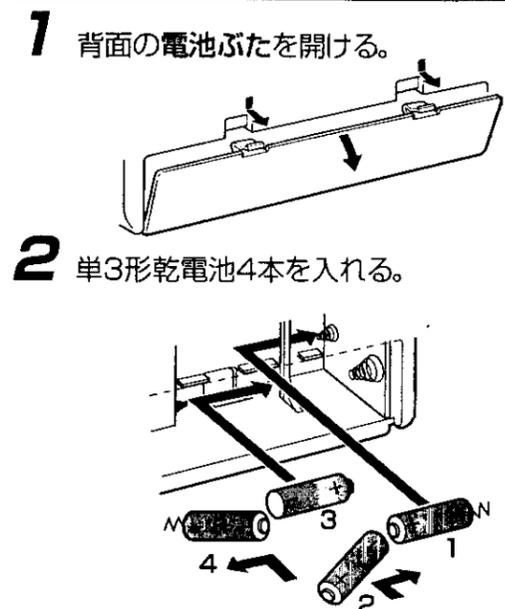
電源について

時計/メモリーバックアップ用乾電池について

単3形乾電池(別売)を入れておくと、停電時や単1形乾電池が消耗したときでも、時計の動作と設定された各種メモリーを保持します。

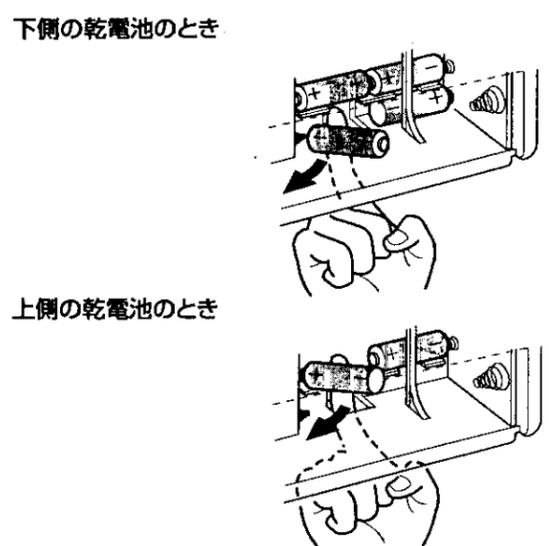
単3形乾電池を交換するときは、電源コードを接続したままで行なってください。

乾電池の入れかた



- 極性の⊕⊖を間違えないよう図に示す番号順に入れます。
- この乾電池が消耗してくると、停電時や単1形乾電池が消耗したとき、時計が狂ったり、表示が消えたりすることがありますので早めに交換してください。

乾電池を取り外すとき...



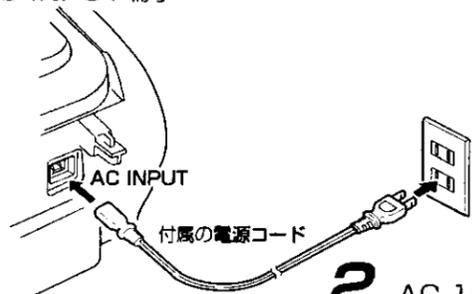
⚠ ご注意メモ
取り出すときは、指を無理に入れずケガをしないようにご注意ください。

はじめに
準備

電源について (つづき)

AC電源でご使用の場合

1 AC INPUT端子へ

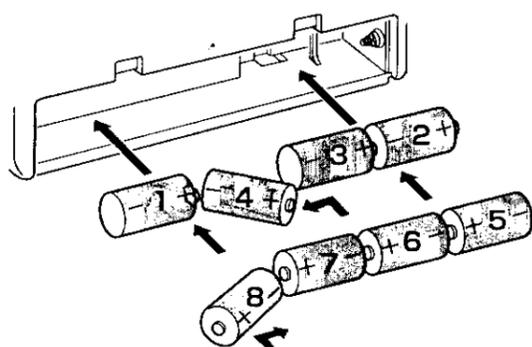


2 AC 100V コンセントへ

- 電源コードを抜き差しするときは、**電源** ボタンで電源を切ってから行ってください。ディスクに傷をつけたり故障の原因になります。

単1形乾電池でご使用の場合

単3形乾電池を入れてから、単1形乾電池(別売)8本を入れ、電池ふたを閉めます。



- 極性の⊕⊖を間違えないよう図に示す番号順に入れます。
- 電源コードがAC INPUT端子に接続されていると、乾電池では動作しません。
- 本機を長期間使用しない場合や、長期間AC電源で使用する場合は、乾電池を取出しておいてください。
- 単1形乾電池だけでも、時計の動作と各種メモリーを保持します。

■ 乾電池の交換時期は……
本機を動作状態にして、電源インジケータを見ます。
色が薄暗くなったり、点灯しなくなったりしたときは、全部新しい同じ種類の乾電池と交換してください。

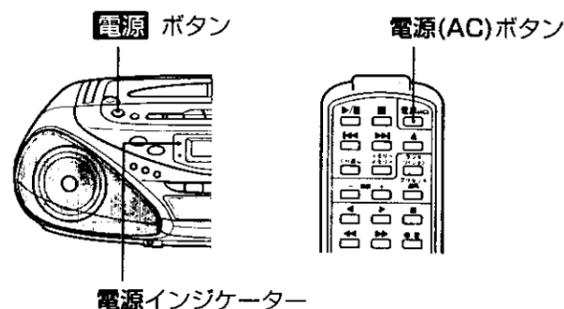
- 乾電池でご使用中に、電源が切れることがあります。これは、乾電池が消耗しているためです。このような場合にも、乾電池を交換するか、AC電源で使用してください。

- ★ 乾電池はとどきとき休ませた方が長く使えます。
- ★ 大切な録音やCDの演奏をするときは、あらかじめ新しい乾電池に交換するかAC電源の使用をおすすめします。

ちょっとこれを!

電源コードを常時コンセントに差し込んでおくと、単3形乾電池(時計/メモリーバックアップ用)の消耗を減らすことができます。

電源の入/切について



電源 ボタン
本体の**電源** ボタンを押して電源を入れます。
もう一度押すと電源は切れます。



電源(AC) ボタン
電源コードを接続していれば、リモコンの**電源(AC)** ボタンで電源の入/切ができます。
電源が入れば、リモコンで各種の操作ができます。



電源
● 電源が入っているときは電源インジケータが点灯します。
タイマー
○

⚠ **ご注意メモ**
乾電池でご使用のときは、リモコンで電源を入れることはできません。本体の**電源** ボタンを押してください。

ちょっとこれを!

- **表示部の照明について**
AC電源でご使用のときは、表示部全体が緑色のバックライトで照明されます。
乾電池でご使用のときは、乾電池の消耗を抑えるためバックライトはつきません。

メモリーの保持について

本機の電源を入れたとき、音量やファンクションモード、放送局のプリセットなどの各種メモリーは電源を切る前と同じになります。

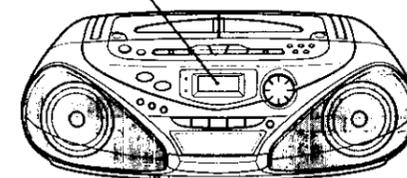
ただし、電池(時計/メモリーバックアップ用単3形乾電池および本体動作用単1形乾電池の両方とも)が入っていないときに電源コードをコンセントから抜くと初期設定に戻ります。

主な初期設定値

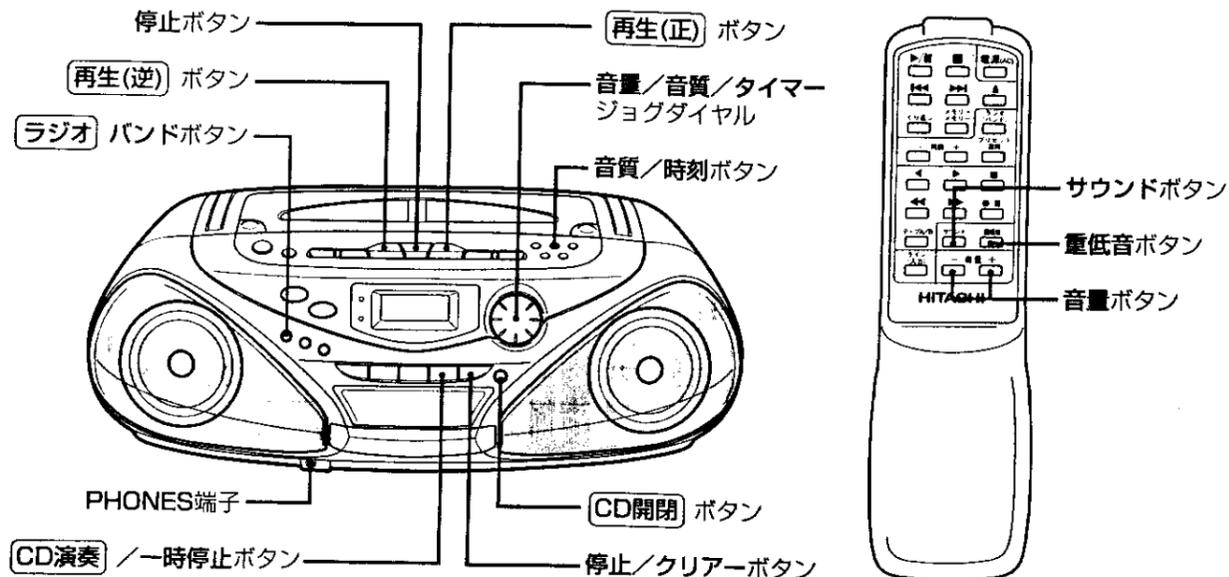
ファンクション	: CD
音量	: 29
音質	: VIVID
バス	: ON
放送局プリセット	: 工場調整用周波数
テープA走行モード	: Z)

準備

表示部



共通な操作のしかた

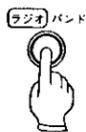


ワンタッチ機能

本機は、**電源** ボタンを押さなくても動作状態にできるボタンがあります。電源が切れているときにボタンを一つ押すだけで電源が入り、再生を始めます。



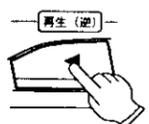
CD演奏 / 一時停止 ボタン
電源が入り、すでにディスクが挿入されている場合、CD演奏を始めます。



ラジオ バンドボタン
電源が入り、ラジオ受信状態になります。ご希望の放送局を選びます。



再生(正) または **再生(逆)** ボタン
電源が入り、すでにテープが挿入されている場合、テープ再生を始めます。ただし、テープB(deck B)が選ばれているときに**再生(逆)** ボタンを押すと、電源が入り、ファンクションモードはテープになりますが、テープ再生はしません。



CD開閉 ボタン
電源が入り、CDトレイが出てきます。

● 乾電池でご使用のときは、このワンタッチ機能は動きません。

ヘッドホンで聞くには



- ミニプラグ付のステレオヘッドホンをご用意ください。標準プラグ付ステレオヘッドホンの場合は、プラグアダプター HC-503A(別売)をご使用になると接続できます。

⚠️ ご注意メモ

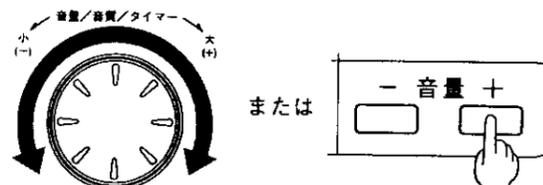
ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないでください。特に、CDはノイズが少なく、通常のカセットのようにノイズを聞きながら音量を調節しますと、思わぬ大音量になることがありますのでご注意ください。



音量の調節

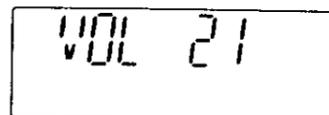
本体の音量ジョグダイヤルとリモコンにある音量ボタンで調節します。

「+」側……大きくなる(VOL 50 まで)
「-」側……小さくなる(VOL 0 まで)



<本体>

<リモコン>



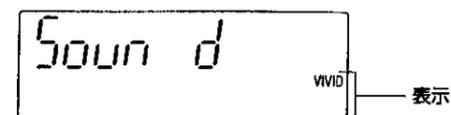
音量の大きさは、表示部に数字で表示されます。

- **電源** ボタンで電源を切ったときは、切る前の音量レベルが保持されます。ただし、音量を最大レベル近くまで上げていた場合は、音量最大の80%(VOL 38)程度に自動的にしぼられます。
- レベルを変えても録音には影響しません。
- 音量レベルの初期設定はVOL 29です。最初にお使いになるときや電源コード/乾電池の両方を抜いて電源を切ったあと、再びお使いになるときは初期設定の内容になります。

音質の選びかた

本体の音質ボタンと音質ジョグダイヤルまたはリモコンのサウンドボタンでお聞きになる音楽のジャンルにあった音質(VIVID, MILD, NORM)を選ぶことができます。

(サウンド表示)

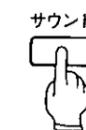


表示	
VIVID	低音域と高音域を強調したいとき(ロックミュージックなど)
MILD	低音域を強調したいとき(ポップスなど)
NORM	低音域から高音域までフラットな特性で聞きたいとき(クラシックなど)

- 電源を切ったときは、切る前の音質が保持されます。
- 録音時に音質を切り換えても、録音された音質は変化しません。

リモコンで選ぶとき

1



サウンドボタンを数回押す。希望のサウンドを選びます。

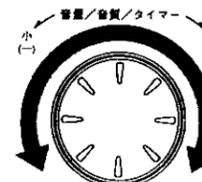
本体で選ぶとき

1



音質ボタンを1回押す。サウンド表示になります。

2

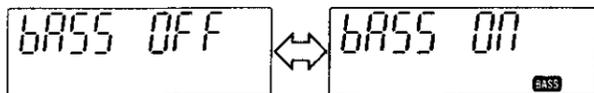


「Sound」が表示されている間に音質ジョグダイヤルを回す。希望のサウンドを選びます。

重低音について

本体の音質ボタンと音質ジョグダイヤル、またはリモコンにある重低音ボタンで入/切することができます。

(バス表示)



- 電源を切ったときは、切る前の状態が保持されます。
- 重低音を変えても録音には影響しません。

リモコンで選ぶとき

1



重低音ボタンを押す。
押すたびに入/切が切り換わりま
す。

本体で選ぶとき

1



音質ボタンを2回押す。
バス表示になります。

2



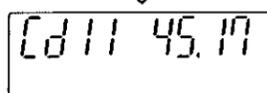
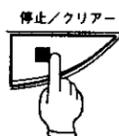
「bASS」が表示されている間に音
質ジョグダイヤルを回す。
入/切が切り換わりま
す。

ファンクションモードの切換え

お聞きになりたいファンクション(CD/ラジオ・テレビ音声/テープ)に合わせて、本機のファンクションモードを選びます。

CDを聞くととき

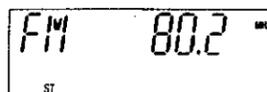
停止/クリアーボタンを押す



ディスクが挿入されているときは、
総曲数と総演奏時間を、ディスクが
ないときは「no disc」を表示しま
す。

ラジオ・テレビ音声を聞くととき

ラジオバンドボタンを押す



受信状態になります。

テープを聞くととき

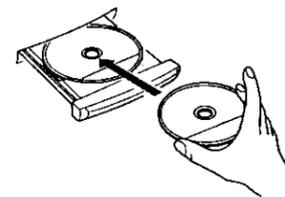
停止ボタンを押す



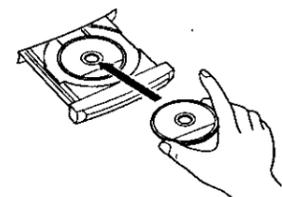
テープの操作ができる状態にな
ります。

ディスクの入れかた

12センチCDのとき



8センチCDのとき



中央の円形の切り込み部にのせる

ディスク面に触れないように持ち、レーベル面を上側にし
て、入れます。

ディスクのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔
らかい布でふきとってください。

ディスクは必ず矢印方向にふいてください。

シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防
止剤は絶対に使用しないでください。

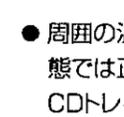


必ず内側から外側へ



コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、
故障する原因となることがあります。

露(水滴)の発生について



● 周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露(水滴)が発生することがあり、この状
態では正常にディスクの再生ができないことがあります。このような場合、ディスクを取り出して
CDトレイを開けたまま、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。

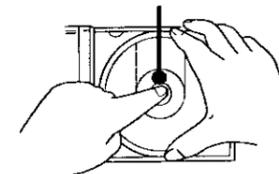
ちょっとこれを!

- 一度に2枚以上のディスクを入れることはできません。
- ディスクがCDトレイ上の正しい位置にのっていないと、ディスクに傷を
つけたり故障の原因になります。
- ディスクの裏表を逆に入れると、「NO disc」を表示して演奏できま
せん。
- ディスクにキズ、指紋、ほこりがついていても演奏できないことが
あります。
- CDトレイが動いているとき、CDトレイを押したり引っ張ったりしない
でください。故障の原因になります。
- 演奏中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る
場合は、本機と他の機器とを離してください。

ディスクの取扱いと保管

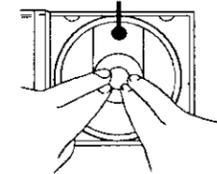
ケースからの出し入れは

センターホルダーを押さへ



演奏面に触れないように
持って出す。

レーベル面を上にして...



上から押さえて入れる。

- レーベル面に紙を貼ったり字を書いたりしない。
- ディスクは曲げない。

ディスクの保管について

必ず専用ケースに入れて保管してください。
直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には
置かないでください。

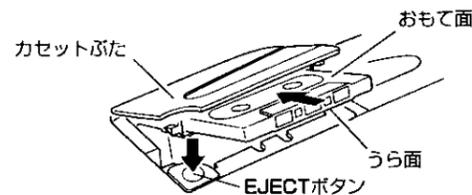
本機を持ち運びするときは

- ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原
因になります。

聞きかた

カセットテープの入れかた

お使いになる方のデッキのEJECTボタンを押すとカセットぶたが開きます。



カセットテープを入れたら、カセットぶた中央部を押して閉めてください。

カセットテープの保管について

ご使用後は、所定のケースに入れて保管してください。高温、多湿、磁気、直射日光、チリ、ホコリの多い場所やカビの発生しやすい場所はさけてください。

フルオートストップについて

カセットデッキはフルオートストップ機構をそなえております。録音、再生、早送り、巻戻しでテープが全部巻き取られると自動的に停止します。ただし、再生時にリバーモードが「<=>」になっているときはオートストップは働きません。



ちょっとこれを!

お使いになるカセットテープについて

- ノーマルテープ(TYPE I)をご使用ください。メタルテープ(TYPE IV)、ハイポジション(クロム)テープ(TYPE II)は使用できません。
- エンドレステープは使用できません。
- ツメを折ったカセットテープでは録音できません。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込んだりすることがありますので使用しないでください。

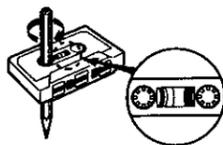
大切な録音を消さないために

カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。

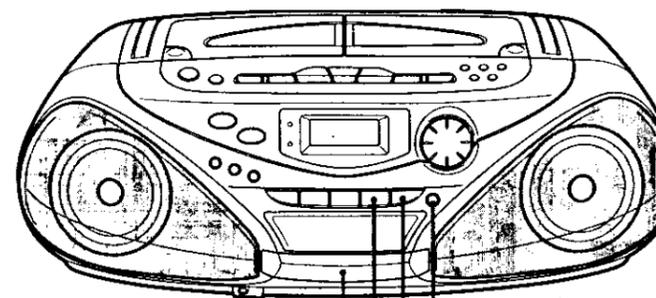


誤って折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさぐと録音できるテープに復元します。

- テープにたるみがあるときは巻き込んだりして故障の原因になりますので、鉛筆などでたるみをとってから入れてください。
- テープを引き出ししたり、テープ面にふれないでください。
- リーダーテープ部を巻きとるときは、矢印方向に回してください。逆に回すと巻き込みの原因になります。



番号は操作手順を示します。



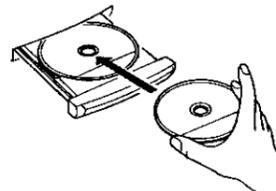
1 CD開閉 ボタン
2 CDトレイ
3 CD演奏 / 一時停止 ボタン

1



CD開閉 ボタンを押す
CDトレイがでできます。

2

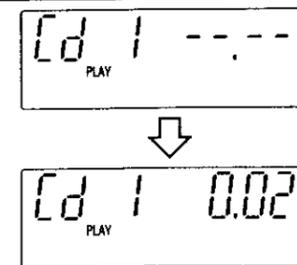


ディスクを入れる

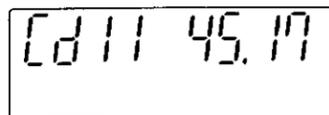
3



CD演奏 / 一時停止 ボタンを押す
CDトレイが閉まり、CD演奏が始まります。



CD演奏を止めるには
停止/クリアーボタンを押す



総曲数と総演奏時間が表示されます。

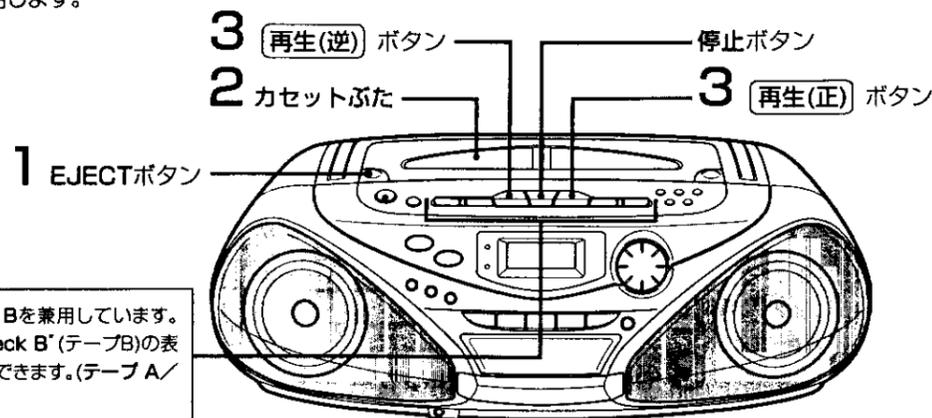
CDプレーヤーの操作ページ

ディスクについて	24 ページ
プログラム演奏	29~30 ページ
プログラムの追加	30 ページ
プログラムの変更	30 ページ
スキップ(頭出し)	32 ページ
サーチ(早送り/早戻し)	32 ページ
くり返し演奏(リピート)	31 ページ
録音する	
ワンタッチ録音	39~40 ページ
バックスキップエディット録音	
マニュアルエディット録音	41~42 ページ
マニュアル録音	45~46 ページ

基本操作 テープ再生

番号は操作手順を示します。

- テープAは再生専用(オートリバース)、テープBは録音・再生(片面再生)ができます。
- 説明は、テープA側で説明します。



テープ操作ボタンは、テープA、Bを兼用しています。
"deck A"(テープA)または、"deck B"(テープB)の表示されている側のテープが操作できます。(テープA/Bの切り換え 34ページ)

1 EJECTボタンを押す
カセットぶたが開きます。

2 テープA側にテープを入れ、カセットぶたを閉める
"deck A"が表示されます。

deck A
Z)

TAPE以外のファンクションのときでも表示されています。

3 再生(正) または 再生(逆) ボタンを押す
テープ再生が始まります。

● テープBを再生するときは、テープA/Bボタンを押してテープBに切り換えてから再生(正) ボタンを押します。

再生(正方向)のとき

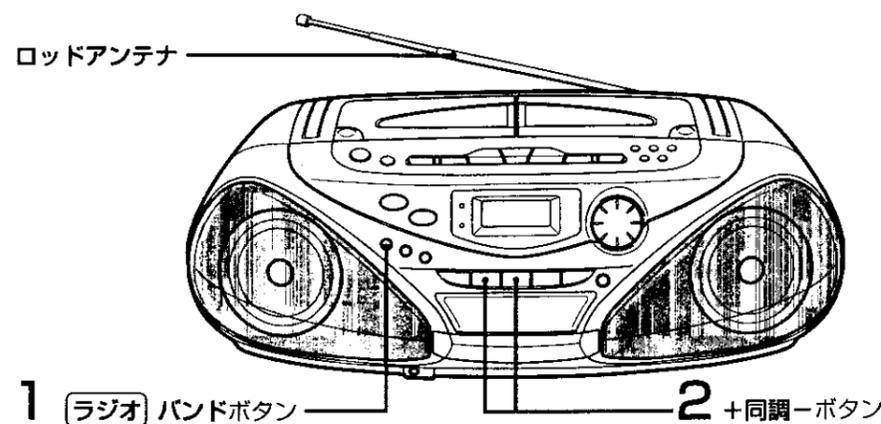
テープを止めるには
停止ボタンを押す



カセットデッキの操作ページ	
カセットテープについて	25 ページ
早送り/巻戻し	34 ページ
曲の頭出し(AMSS)	34 ページ
テープA/Bの切り換え	34 ページ
走行切り換え	35 ページ
テープカウンター	35 ページ
リレー再生	33 ページ
録音する	
ワンタッチ録音	43~44 ページ
マニュアル録音	45~46 ページ
留守録音	47~48 ページ

基本操作 ラジオ・テレビ音声

番号は操作手順を示します。

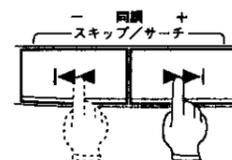


1 ラジオ バンドボタンを押す
ラジオ・テレビ音声受信状態になります。
くり返し押すとバンドが切り換わります。
AM/FM/TVのいずれかを選んでください。

FM → AM → TV

バンド 周波数/チャンネル
AM 13 14 MHz

2 (2通りの選局のしかたがあります。)



マニュアル(手動)選局
一同調+ボタンをポンポンと押す
放送局を選びます

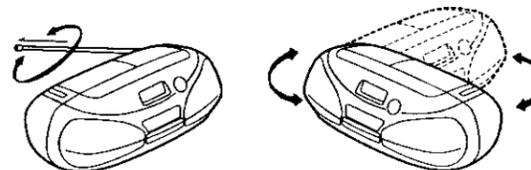
TV	1~3 ch	(1 ch ステップ)
AM	522 ~ 1,629 kHz	(9 kHz ステップ)
FM	76.0 ~ 90.0 MHz	(0.1 MHz ステップ)

オートスキャン(自動)選局
一同調+ボタンを1秒間押す
周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、その電波で自動停止することがありますが故障ではありません。

アンテナを調節して受信状態を良くする

FM放送やテレビ音声のとき AM放送のとき



ロッドアンテナを伸ばし、もっとも良く聞こえる方向に向けます。

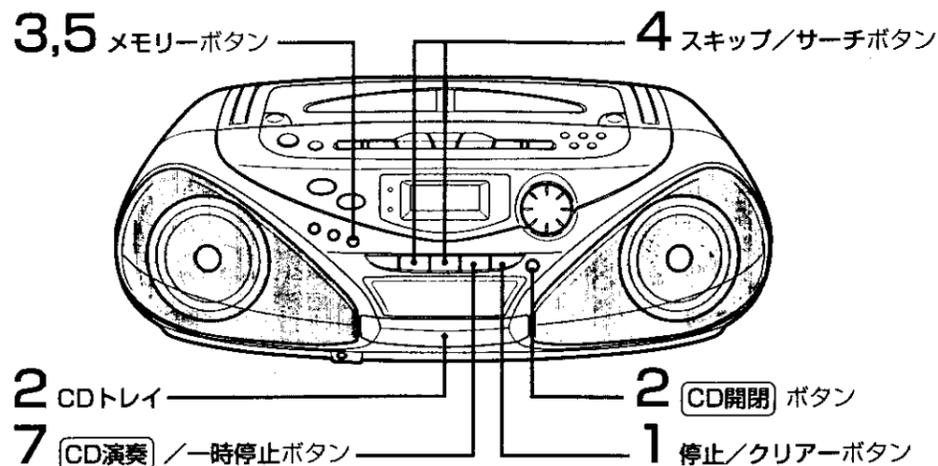
内蔵のアンテナがはたらきますので向きを変えて、もっとも良く聞こえる方向に置きます。

ラジオの操作ページ

プリセット選局のメモリーのしかた	36 ページ
プリセット選局の受信のしかた	37 ページ
FMステレオ放送の受信	38 ページ
ビート音がでるときは	38 ページ
録音する	
マニュアル録音	45~46 ページ
留守録音	47~48 ページ
録音のときビート音がでるときは	46 ページ

聞きかた

CD演奏(プログラム演奏) 番号は操作手順を示します。



例) 曲番3をプログラム(予約)するとき

1		停止/クリアーボタンを押す ファンクションモードがCDになります。	NO DISC
2		CD開閉ボタンを押してディスクを入れ、ボタンをもう一度押す 挿入されたディスクの内容を表示します。	Cd OPEN ↓ Cd 12 47.05 <small>総曲数と総演奏時間が表示されます。</small>
3		メモリーボタンを押す メモリースタンバイ状態になります。	Cd 1 Pr. 1 <small>点滅</small>
4		スキップ/サーチボタンを押す ご希望の曲番を表示させます。	Cd 3 Pr. 1 <small>点滅</small>
5		メモリーボタンを押す これで曲番3がプログラム(予約)されました。	Cd 3 Pr. 1 <small>点灯</small>

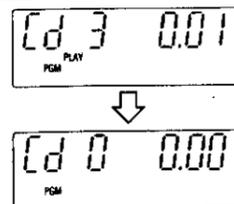
6

他の曲番もプログラム(予約)したいときは**4~5**の操作をくり返す

7



CD演奏 / 一時停止ボタンを押す
プログラムした順番で演奏が始まります。
演奏が終了すると「Cd 0 0.00」表示になります。



プログラム内容を確認するには
プログラム演奏が終了し、「Cd 0 0.00」表示となっていることを確認して、メモリーボタンを押す
プログラムした曲番とプログラムナンバーが表示部で確認できます。

プログラムを解除するには
停止状態のときに、停止/クリアーボタンを押す
または、CD開閉ボタンを押す

プログラムの追加

- プログラム演奏が終了し、「Cd 0 0.00」表示となっているときに行なってください。
- プログラムされている曲と曲との間に追加することはできません。

例) プログラムの最後(Pr.5)に曲番4を追加する

1	メモリーボタンを押す 右の表示になるまで数回押します。	Cd --- --- <small>点滅</small>
2	スキップ/サーチボタンを押す 追加する曲番を表示させます。	Cd 4 Pr. 5 <small>点滅</small>
3	メモリーボタンを押す プログラムが追加されました。	Cd 4 Pr. 5 <small>点灯</small>



ちょっとこれを!

- 演奏中やディスクを入れていない状態ではプログラムできません。
- プログラムは24曲まで予約できます。
25曲目をプログラムしようとする、「FULL」(フル)表示をした後、24曲目の表示に戻ります。
- 表示部に示される「Pr.1」「Pr.2」...はプログラム・ナンバー(演奏順)の意味です。

プログラムの変更

- プログラム演奏が終了し、「Cd 0 0.00」表示となっているときに行なってください。
- プログラム内容の一部を取り消すことはできません。

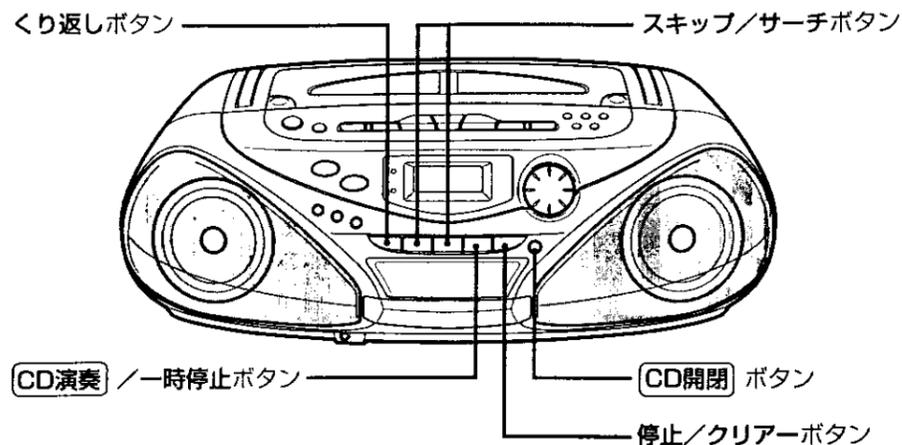
例) Pr.2の曲番5を曲番2に変更する

1	メモリーボタンを押す Pr.2を表示させます。	Cd 5 Pr. 2 <small>点滅</small>
2	スキップ/サーチボタンを押す 変更したい曲番を表示させます。	Cd 2 Pr. 2 <small>点滅</small>
3	メモリーボタンを押す プログラムが変更されました。	Cd 2 Pr. 2 <small>点灯</small>

聞きかた

CD演奏(くり返し演奏/一時停止/スキップ/サーチ)

番号は操作手順を示します。

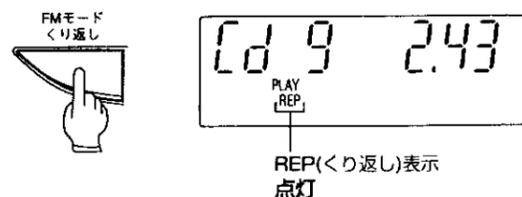


くり返し演奏(リピート)

● 通常演奏でもプログラム演奏でも操作方法は同じです。

ディスクの全曲をくり返し演奏することができます。プログラム演奏をしているときは、プログラムの内容をくり返し演奏します。

くり返しボタンを押す。



くり返し演奏を解除するには...

- もう一度くり返しボタンを押します。
- 次のボタンを押したときも解除されます。

(CD開閉) ボタン
停止状態のときに停止/クリアーボタン

一曲だけをくり返し演奏するには...

- 1 CD演奏(プログラム演奏) [29ページ] 3~5の手順で一曲予約する。

2 くり返しボタンを押す。

3 (CD演奏) / 一時停止ボタンを押す。

一時停止

(CD演奏) / 一時停止ボタンを押す。

演奏中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、演奏を再開します。



ちょっとこれを!

停止と一時停止について(CD)

停止 : 演奏を終了してディスクの回転が停止した状態です。

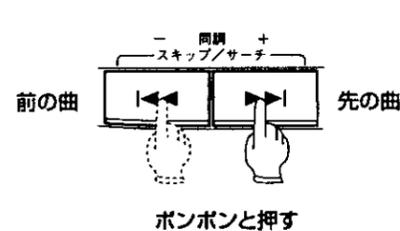
(CD演奏) / 一時停止ボタンを押すと1曲目から演奏をはじめます。

一時停止: 演奏が一時停止します。(CD演奏) / 一時停止ボタンをもう一度押すと演奏に戻ります。

スキップ(曲の頭出し)

● 演奏中または、一時停止中に行なってください。曲の頭出しができます。

スキップ/サーチボタンをポンポンと押す。聞きたい曲番を表示させます。

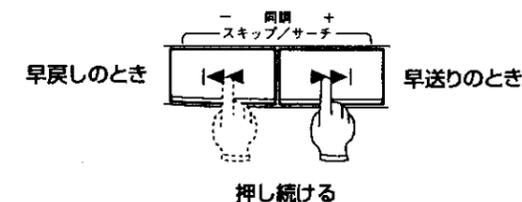


- スキップ/サーチボタン(◀▶)を1回押したときは、現在聞いている曲の頭に戻ります。
- 前の曲の頭出しをする場合は、さらにポン、ポンと押してください。
- 一時停止中にする、スキップ後一時停止状態になります。
- プログラム演奏中にする、予約順に曲の頭出しをします。

サーチ(早戻し/早送り)

● 演奏中に行なってください。音を聞きながら早戻しまたは、早送りができます。

1 スキップ/サーチボタンを押し続ける。



2 聞きたいところになったら指をはなす。

- 一時停止中にする、サーチ後一時停止状態になります。
- プログラム演奏中にする、演奏中の曲の中だけでできます。演奏中の曲の頭までサーチすると、そこで一時停止状態になります。演奏中の曲の最後までサーチすると、次にプログラムされた曲の頭で一時停止状態になります。

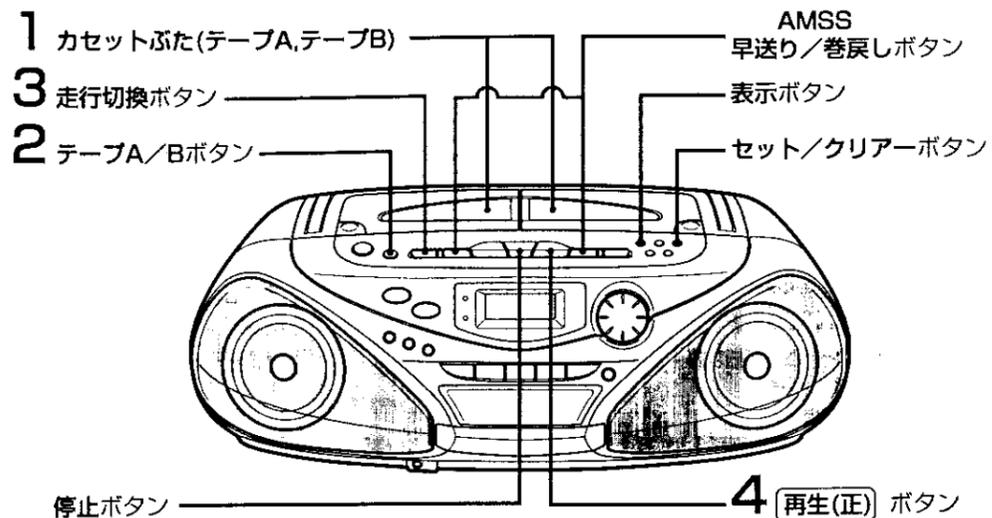
聞きかた

テープ再生(リレー再生)

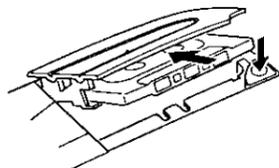
番号は操作手順を示します。

2本のテープを続けて再生することができます

次の操作をすると、テープAの再生が終わると、自動的にテープBの再生をスタートします。



1

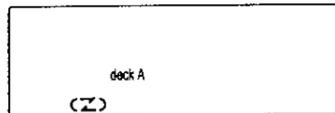


A/B両方のデッキにテープを入れ、カセットぶたを閉める

2



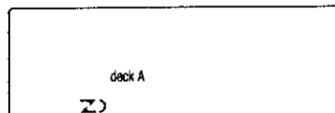
テープA/Bボタンを押す
"deck A"を表示させます。



3



走行切替ボタンを押す
"Z)"を表示させます。



4



再生(正) ボタンを押す
テープAのうら面を再生し終わると、自動的にテープBの再生を始めます。



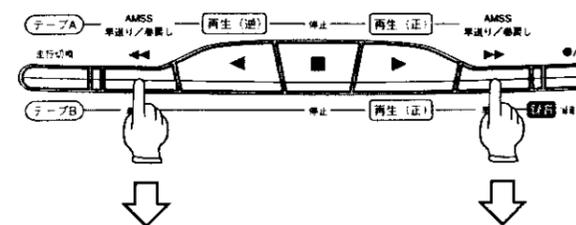
テープ再生(その他の機能)

曲の頭出し(AMSS)

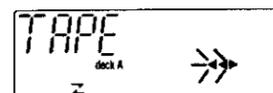
再生中に押すと、今聞いているところから前後の曲間に飛び越して、曲の始めから再生できます。

AMSS オートマチック ミュージック セレクト システム
(AMSS: Automatic Music Select System)

おもて面を再生中の場合



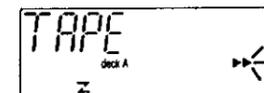
今、聞いている曲を頭出しする



"<<"点滅

今聞いている曲の頭に戻って再生が始まります。

次の曲を頭出しする



">>"点滅

次の曲の頭から再生が始まります。

- うら面を再生中(◀ が点灯)は、逆のはたらきになります。(テープAのみ。テープBはうら面再生はできません。)

ご注意ください

AMSSは、ミュージックテープなどの曲間の無録音部分(約4秒以上)を検出することにより自動的に頭出ししますので、次のようなときは正常に動作しないことがあります。故障ではありません。

- 無録音部分の短いテープ(約4秒以下)を使用するとき。
- 音楽などの中で特に音の小さい部分があるテープを使用するとき。
- 曲間に大きな雑音などが録音されているようなテープを使用するとき。
- 本機をテレビの近くに置いて使用した場合、テレビなどからの電波の影響でAMSSが正常に動作しないことがあります。このような場合には、本機をテレビから離してください。



ちょっとこれを!

片方のデッキで再生中、テープA/Bボタンで使用するデッキを切り換えると、もう一方のデッキで早送り/巻戻し操作ができます。(操作の後は、再度テープA/Bボタンを押して動作ができるデッキを元へ戻しておきます。)

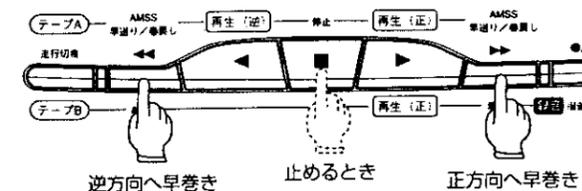
- 再生中に、もう一方のデッキで早巻き操作をすると、再生中のデッキが回転ムラを起こすことがあります。

早送り/巻戻し

停止状態のときに押すと、テープの早送り/巻戻しをします。

テープが最初または、最後まで巻き取られると、自動的に停止します。

早送り/巻戻し中に停止ボタンを押すと、止まります。



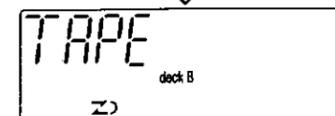
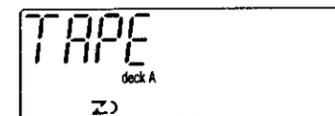
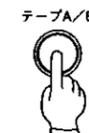
テープA/Bの切り換え

本機のテープ操作ボタンは、テープA、Bを兼用しています。テープを入れると表示部に"deck A"または、"deck B"が表示されます。

"deck A"... テープAの操作ができます。

"deck B"... テープBの操作ができます。

両方にテープが入っているときは、本体のテープA/Bボタンを押すたびに切り換わります。



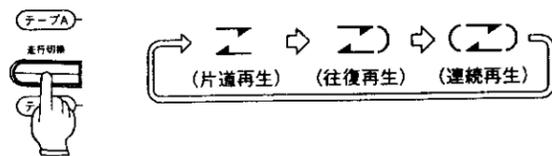
- テープを両方のデッキに入れたときは、後から入れたほうのデッキが表示されます。

テープ再生(その他の機能) (つづき)

走行切り換え

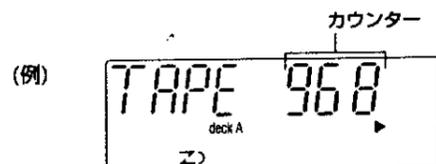
テープAには、オートリバース機能があります。ご希望のリバースモードを表示させます。(テープBは片面再生ですので、この操作をしても、オートリバースにはなりません。)

走行切替ボタンを押す。



テープカウンター

再生や録音、早巻きをすると、テープの動きに合わせて表示部にカウンターの数字が表示されます。



- 他のファンクションのときに、本体の表示ボタンを使ってカウンターを表示させることができます。
- カウンターはテープデッキごとについていますが、表示部にはテープが入っているデッキ(両方に入っている場合にはインジケータが点灯している方のデッキ)のカウンターのみが表示されます。
- テープのダビング中は、デッキBのカウンター表示になります。
- カウンターは、テープが右側へ走行中は数字が増加し、左側へ走行中は減少していきます。

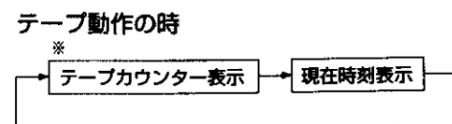
カウンターを「000」に戻すには(カウンターリセット)セット/クリアーボタンを押す。



- カウンターの数値はリセットしない限り、電源を切っても切る前の数値が保持されます。
- テープBのカウンターの数値は、ワンタッチ録音をスタートすると自動的に「000」に戻ってスタートします。
- テープを入れ替えたときも、前に停止したときのカウンターの数字が表示されます。

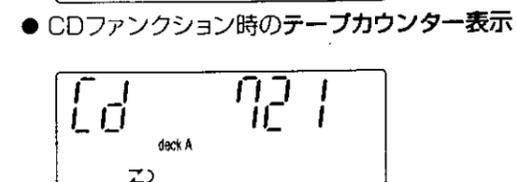
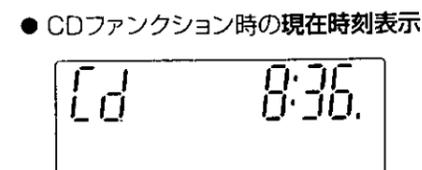
現在時刻表示やテープカウンター表示

表示ボタンを押すと、押すたびに次のように表示モードが切り換わります。



- 電源を入れたときや、ファンクションを切り換えたときは、上記※の表示モードになります。
- LINE動作時を除き、現在時刻表示に切り換えたときは、10秒後に※の表示モードに戻ります。
- テープカウンター表示はテープを装着している場合にのみ表示されます。

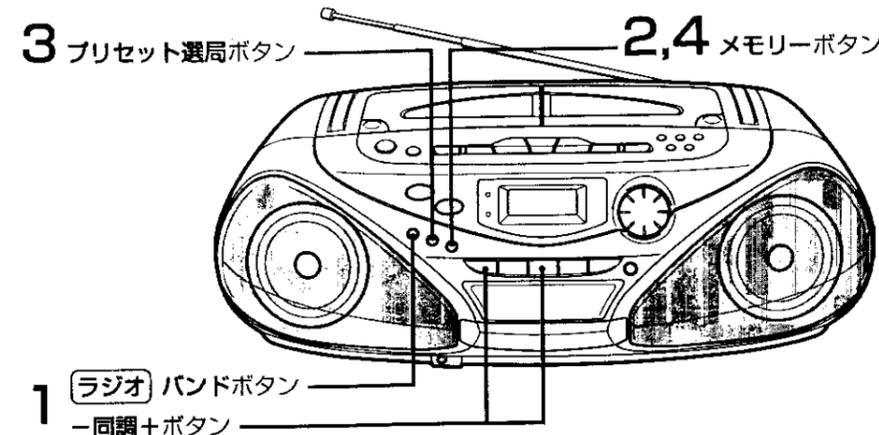
(表示例)



ラジオ・テレビ音声を聞く(プリセット選局)

番号は操作手順を示します。

放送局をプリセットしておく、次からはプリセット番号を選ぶと簡単に放送を受信します。AM/FMにそれぞれ10局、TVに3局のプリセットができます。(合計23局)



プリセット選局のメモリー(プリセット)のしかた

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | プリセットしたい放送局を受信する
28ページ | |
| 2 | メモリーボタンを押す
● オートスキャン選局で放送局を受信するときは、表示部の周波数が止まり、放送が聞こえてからこのボタンを押してください。 | |
| 3 | 「PGM」点滅中にプリセット選局ボタンを押す、ご希望のプリセット番号を表示させる | |
| 4 | 「PGM」点滅中にメモリーボタンを押す
これで受信中の放送局がご希望のプリセット番号にプリセットされました。
● すでにプリセットされているプリセット番号に新しい周波数をプリセットすると、前の周波数は取り消されます。 | |
| 5 | 1~4の操作をくり返す
ほかの放送局もプリセットします。 | |

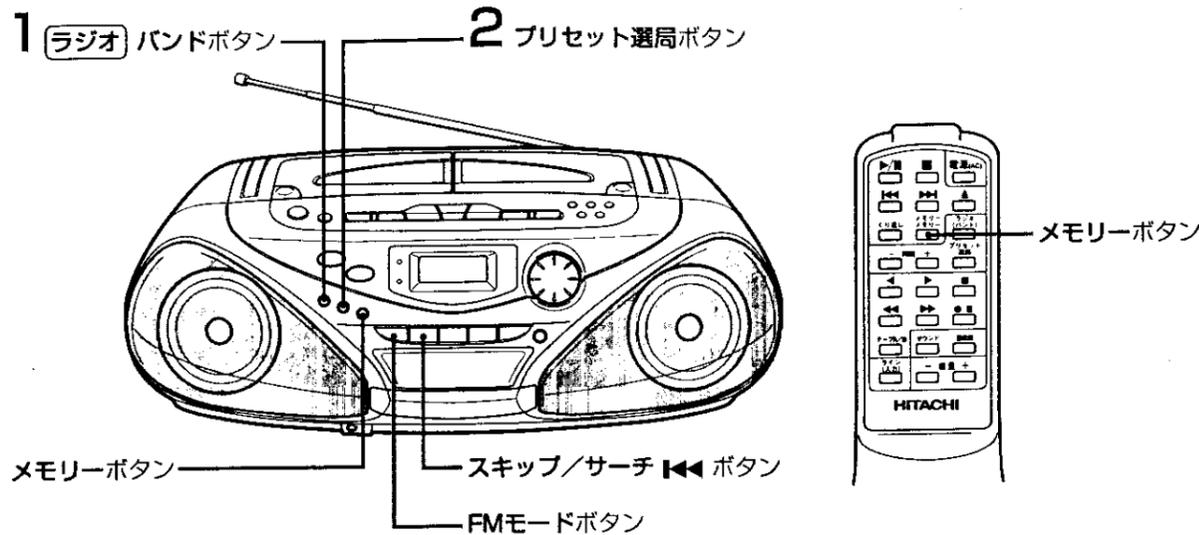
プリセット内容を確認するには

プリセット選局ボタンを押す。

プリセットしたバンド、プリセット番号、周波数/チャンネルが表示部で確認できます。

ラジオ・テレビ音声を聞く(プリセット選局)

番号は操作手順を示します。



プリセット選局の受信のしかた

● プリセット選局をする前に、プリセット選局のメモリーをしておいてください。 **36ページ**

1 **ラジオ** バンドボタンを押す
希望のバンドを選びます。

2 **プリセット選局** ボタンを押す
希望のプリセット番号を選びます。

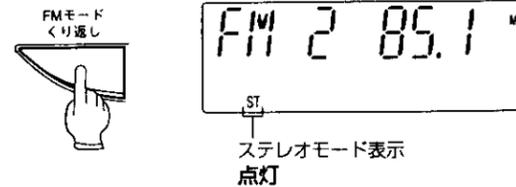
ラジオ・テレビ音声を聞く(その他の機能)

番号は操作手順を示します。

FMステレオ放送の受信

FMモードボタンを押し、ステレオモードにしていると、FMステレオ放送を受信すると自動的にステレオになります。

FMモードボタンを押す。



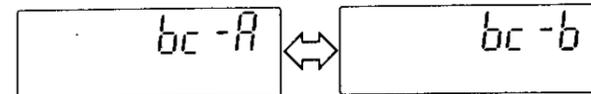
ステレオモードとモノラルが交互に変わります。「MONO」が表示されていないときがステレオモードです。

● 受信状態が悪いと「ST」が表示されないことがあります。この場合、モノラルモードにすると聞きやすくなります。(ステレオにはなりません。)

ビート音ができるときは

受信中、ビート音(「ビー」という音)が入ることがあります。このようなときは、次の操作を行なってください。

- メモリーボタンを押す
「PGM」表示が点滅します。
- PGM表示が点滅している間に、スキップ/サーチボタンの「<<」を押す
ビート音の少ないほうを選びます。

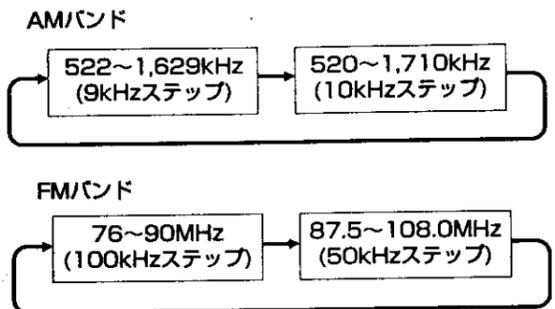


(Aポジション) (Bポジション)
ボタンを押すたびに表示が変わります。

海外でも受信できます

受信周波数の範囲を切り換えると海外で現地のラジオ放送を受信することができます。

- ラジオ** バンドボタンを押す
切り換えるバンドを選びます。
- リモコンのメモリーボタンを押しながら、本体のFMモードボタンを押す
周波数範囲が切り換わり、選んだバンドの最低周波数を表示します。
● プリセット選局ボタンのメモリーは初期状態になります。



受信周波数一覧表

バンド	周波数範囲	ご使用いただける主な地域				
		日本	北米	欧州	東南	中東
AM	522~1,629 kHz (9 kHzステップ)	○		○	○	○
	520~1,710 kHz (10 kHzステップ)		○			
FM	76~90 MHz (100 kHzステップ)	○				
	87.5~108.0 MHz (50 kHzステップ)		○	○	○	○

- 単一形乾電池でご使用の場合に限ります。海外では電源電圧が異なるため、AC電源では使用できません。
- TVバンドは使用できません。
- 海外の一部の地域では受信できないことがあります。



ちょっとこれを!

- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離れてご使用ください。
- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機をご使用になると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- テレビ音声の場合は、ステレオ・音声多重放送にはなりません。
- AMステレオ放送には対応していません。

録音する CD → テープ ワンタッチ録音

番号は操作手順を示します。

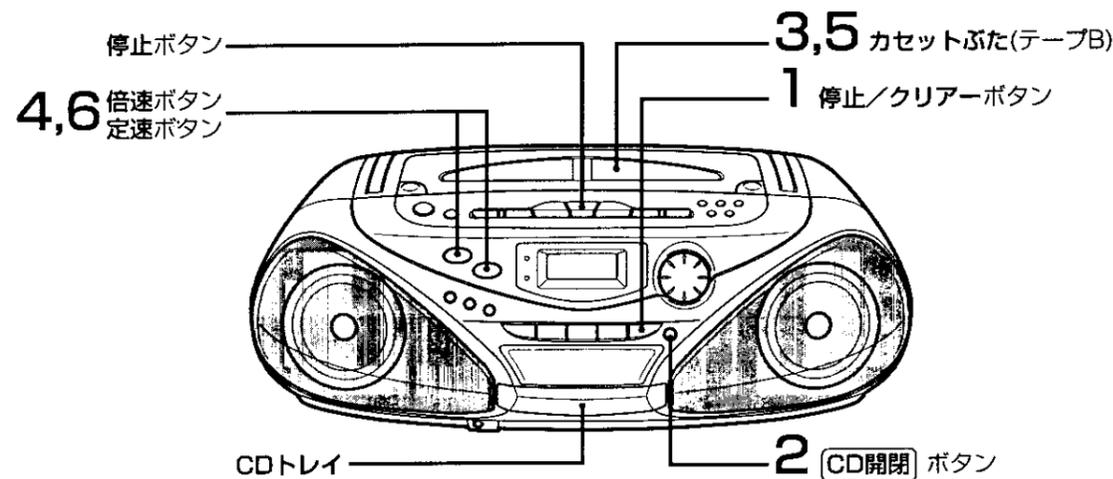
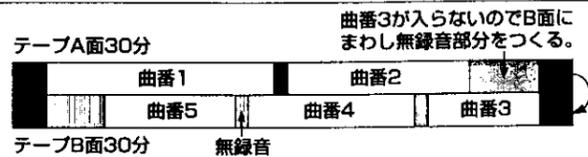
CDを自動録音する前に(倍速または、定速ボタンを使って行なう録音が自動録音です。)

本機は、倍速または、定速ボタンを押すだけで、CDの演奏と録音が同時にスタートします。

- 録音中に定速 ↔ 倍速の切り換えはできません。
- 倍速録音のときは、モニター音は正常に聞こえませんが音量はしぼっておいてください。
- この録音をすると、テープBのカウンター表示は自動的に「000」に戻り、スタートします。
- 録音を開始すると、自動的に約5秒の曲間をつくりながら録音をします。(オートスペース機能)
オートスペースが不要な場合は、マニュアル録音 [45ページ] をしてください。
- 粗悪なCDで倍速録音を行なった場合、テープを再生したときにノイズが発生することがあります。その場合は定速録音をしてください。

録音をする前に、曲を予約(プログラム)しておけば、お好みの曲だけを録音することができます。
(プログラム演奏の 3~6 [29~30ページ])

5曲入りのディスク(全演奏時間47分20秒)を、曲順を変えずにC-60テープに全部録音する場合。

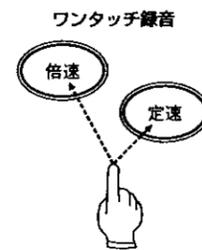


1 停止/クリアーボタンを押す
ファンクションモードがCDになります。

2 [CD開閉] ボタンを押して録音するディスクを入れ、ボタンをもう一度押す
ディスクの総曲数と総演奏時間が表示されます。

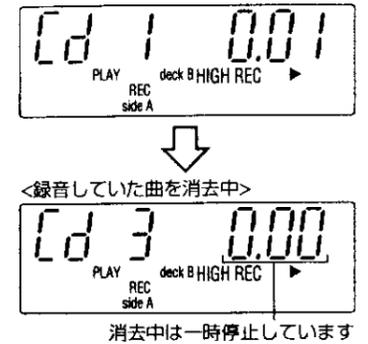
3 テープBに録音用のテープを入れ、カセットぶたを閉める

4 倍速ボタン(倍速録音)または、定速ボタン(定速録音)を押す



自動的に動作します

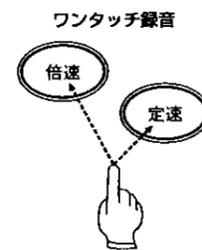
- A面の最初まで巻き戻しをする。
- リーダーテープ分の8秒間(倍速では4秒間)送りをする。
- 曲番1から録音スタート
- 録音は正方向でのみ行なわれます。(テープB)
- A面の最後まで録音すると
CD部 …… 録音が途中で切れた曲の頭に戻り、一時停止します。
- テープ部 …… 録音が途中で切れた曲の頭まで巻き戻し、消去します。



5 A面の録音が終了し、「TAPE -CH」(テープチェンジ)が表示されたら、テープの向きをB面に入れ替える



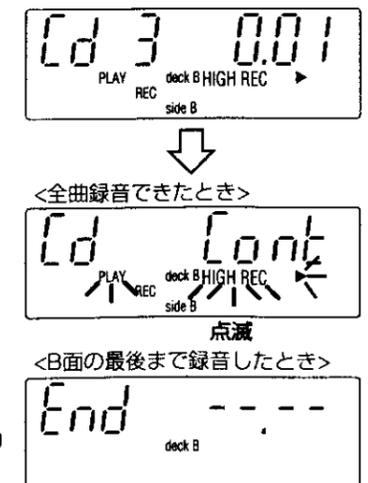
6 **4**で押したボタンを押す
「HIGH REC」が表示されているときは → 倍速ボタンを押す
「NORM REC」が表示されているときは → 定速ボタンを押す



自動的に動作します

- リーダーテープ分の8秒間(倍速では4秒間)送りをする。
- B面の録音スタート

- 全曲録音できたときは
「Cd Cont」を表示し、CDトレイが自動的に出てきます。テープは録音待機状態になります。
- 録音を終了するときは、ディスクを取り出して [CD開閉] ボタンを押します。CDトレイが閉まり録音が終了します。続けて録音するときは、次のディスクを入れて **4** で押したボタンを押します。
- B面の最後まで録音したときは
(CDの曲を全曲録音しきれなかったとき)
CD部 停止します。
テープ部 曲の途中までしか録音できなかった曲の頭まで巻き戻し、消去します。
- 録音終了



録音を途中で止めるときは

停止ボタンまたは、停止/クリアーボタンを押す

録音する CD → テープ

バックスキップエディット録音 マニュアルエディット録音

番号は操作手順を示します。

バックスキップエディット録音

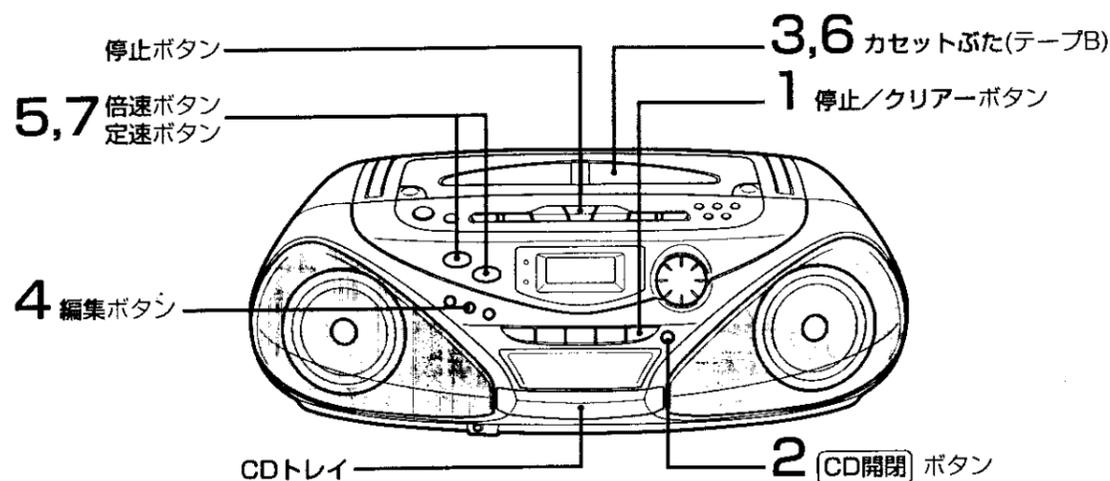
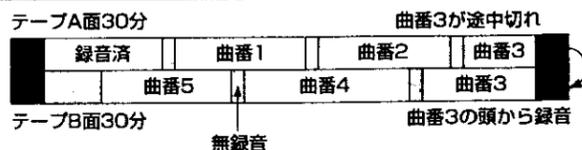
5曲入りのディスク（全演奏時間47分20秒）を、曲順を変えずにC-60テープに全部録音する場合。

- テープ終端で曲が途中で切れた場合、テープを反転させ、倍速または定速ボタンを押すと曲の頭に戻って録音をスタートします。



マニュアルエディット録音

5曲入りのディスク（全演奏時間47分20秒）を、曲順を変えずにC-60テープの途中から録音する場合。



1 停止/クリアーボタンを押す
ファンクションモードがCDになります。

2 CD開閉ボタンを押して録音するディスクを入れ、ボタンをもう一度押す
挿入されたディスクの総曲数と総演奏時間が表示されます。

3 テープBに録音用のテープを入れ、カセットぶたを閉める

4 プリセット選局
編集ボタンを押す
バックスキップエディット録音をするとき → 「bAck Edit」を表示させる
マニュアルエディット録音をするとき → 「TAPE -Cd」を表示させる

5 ワンタッチ録音
倍速ボタン(倍速録音)または、定速ボタン(定速録音)を押す
● 録音は正方向でのみ行なわれます。(テープB)

自動的に動作します	
バックスキップエディット録音	マニュアルエディット録音
テープが途中のときは、A面の最初まで巻き戻しをします。	テープが途中のとき、その位置から無録音部分の5秒間(倍速では2.5秒間)をつくります。
↓	↓
リーダーテープ分の8秒間(倍速では4秒間)送りを行います。	↓
↓	曲番1から録音スタートします。
曲番1から録音スタートします。	

6 A面の録音が終了し、「TAPE -CH」(テープチェンジ)が表示されたら、テープの向きを入れ替える

7 ワンタッチ録音
5で押したボタンを押す
「HIGH REC」が表示されているときは → 倍速ボタンを押す
「NORM REC」が表示されているときは → 定速ボタンを押す

自動的に動作します	
リーダーテープ分の8秒間(倍速では4秒間)送りをする。	
↓	
B面の録音スタート	
全曲録音できたときは「Cd Cont」を表示し、CDトレイが自動的に出てきます。テープは録音待機状態になります。	B面の最後まで録音したときは(CDの曲を全曲録音しきれなかったとき) CDもテープも自動的に停止します。
↓	↓
録音を終了するときは、ディスクを取り出して(CD開閉)ボタンを押します。CDトレイが閉まり、録音が終了します。続けて録音するときは、次のディスクを入れて5で押したボタンを押します。	録音終了

録音を途中で止めるときは
停止ボタンまたは、停止/クリアーボタンを押す

録音

録音する テープ → テープ ワンタッチ録音

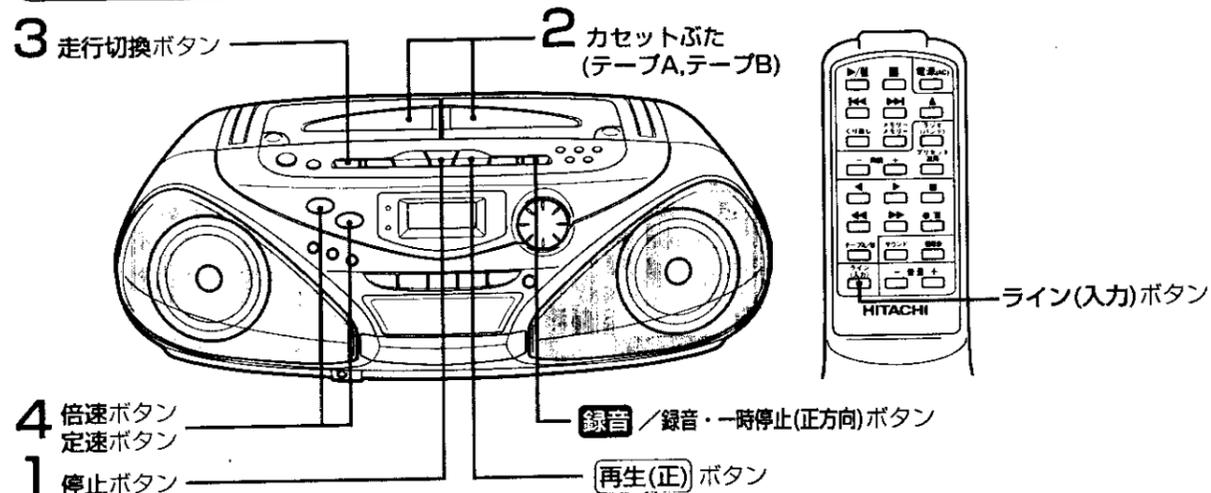
番号は操作手順を示します。

倍速または、定速ボタンを押すだけで、自動的にテープAの再生とテープBの録音を同時にスタートします。
(テープのワンタッチ録音)

2通りのダビングをすることができます。

定速ダビング テープAの再生音を聞きながら編集ダビングしたいとき。

倍速ダビング テープのはじめから終わりまで短時間(定速時の約半分の時間)でダビングしたいとき。



1 停止ボタンを押す
ファンクションモードがTAPEになります。

2 テープAに再生するテープを、テープBに録音用のテープを入れる

- 再生、録音する面を上側にに向けて入れてください。
- できるだけ走行時間が同じテープをご使用ください。

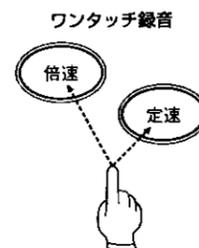
前のテープカウンター数値が残っています。

3 走行切換ボタンを押す
リバースモードを選びます。
テープAの両面を続けて録音するとき → 「<」

テープAの片面だけを録音するとき → 「<」

- 「<」にした場合は、録音をスタートすると自動的に「<」に切り換わります。

4



倍速ボタン(倍速録音)または、定速ボタン(定速録音)を押す

自動的に動作します

テープA、テープBともに最初まで巻戻して停止する。

テープAは1曲目の頭出しをして停止する。

テープBでリーダーテープ分の8秒間(倍速では4秒間)送りをした後、テープAが再生を開始する。(両方とも正方向で行なわれます。)

録音スタート

● ダビングをスタートするとテープBのカウンター数値は自動的に「000」に戻ってスタートします。

ダビング開始時の表示



片道録音の場合

- 片道録音の場合、テープAまたは、テープBがテープの終端までくると、両方のデッキが同時に停止します。
- 往復録音の場合、テープAがテープの終端までくると、デッキが反転して、ダビングはそのまま続きます。両面終わればダビングは終了します。テープBがテープの終端までくると、両方のデッキが同時に停止して、ダビングは終了します。
- テープBの両面につづけて録音するときは「マニュアル録音」[45ページ]で録音してください。
- ダビングを途中で止めるときは、停止ボタンを押すと両方のデッキが停止します。

消去のしかた

新たに録音しないで、テープの内容を消します。

- LINE IN端子には何も接続しない状態で行なってください。

1 リモコンのライン(入力)ボタンを押す

2 テープBに消去したいテープを入れる

3 録音/録音一時停止(正方向)ボタンを押す

4 再生(正)ボタンを押す
消去を開始します。



ちょっとこれを!

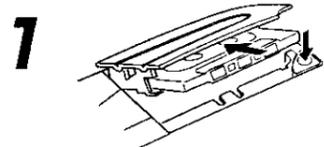
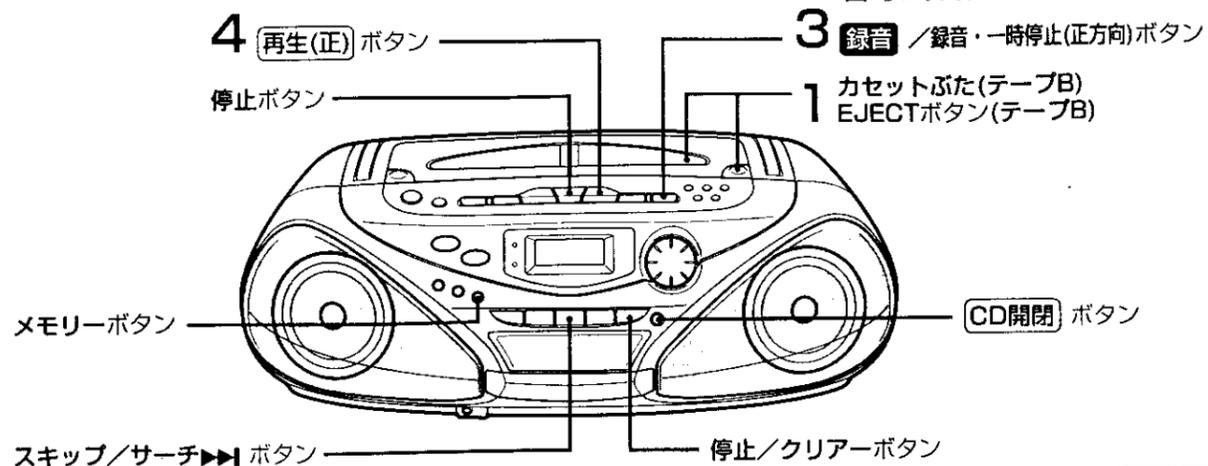
- ワンタッチ録音は、再生するテープの途中からの録音はできません。この場合マニュアル録音 [45ページ] で録音してください。
- 倍速ダビング中、モニター音は正常に聞きとれませんので音量はしぼっておいってください。
- ダビング中、定速 ↔ 倍速の切り換えはできません。
- テレビなどの近くに置いてダビング(特に倍速ダビング時)しますと、テレビなどの影響で異常音が混じって録音されることがあります。このようなときは、テレビの電源を切るか、テレビから離してください。

録音する

CD → テープ / テープ → テープ
ラジオ・テレビ音声 → テープ

マニュアル録音

番号は操作手順を示します。



1 テープBのEJECTボタンを押して、録音用のテープを入れ、カセットぶたを閉める

録音するファンクション(音源)を選ぶ

CDを録音するとき(シンクロ録音):

停止/クリアーボタンを押し、ファンクションをCDにします。

[CD開閉] ボタンを押して、CDを入れます。

● 希望の曲から録音するときは、スキップ機能で曲番を選んでおきます。 [32 ページ]

● 希望の曲だけを録音するときは、プログラムをしておきます。 [29~30 ページ]

ラジオ・テレビ音声を録音するとき:

放送を受信する。

[28,36~37 ページ]

テープを録音するとき(テープダビング):

停止ボタンを押し、ファンクションをTAPEにします。

テープAに再生するテープを入れ、希望するところを頭出しする。 [34 ページ]

リバーモードを選んでおきます。 [35 ページ]



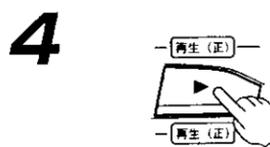
3 [録音 / 録音・一時停止(正方向)] ボタンを押す

録音待機状態になります。

● 録音は正方向でのみ行なわれます。(テープB)



(例)CDファンクションのとき 点滅

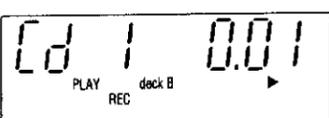


4 [再生(正)] ボタンを押す

録音が始まります。

● CDを録音するときは、演奏が自動的にスタートし、録音が始まります。

● テープをダビングするとき、テープAは正方向で再生を始めます。



点灯

録音を終わるときは
停止ボタンを押す

CDシンクロ録音のときは

● テープが全部巻き取られるとテープもCDも自動的に停止します。

● 停止ボタンを押すと、CD演奏も自動的に停止します。

テープダビングのときは

● 片道録音の場合、テープAまたは、テープBがテープの終端までくると、両方のデッキが同時に停止します。

● 往復録音の場合、テープAがテープの終端までくると、デッキが反転して、ダビングはそのまま続きます。両面終わればダビングは終了します。テープBがテープの終端までくると、両方のデッキが同時に停止して、ダビングは終了します。

自動録音レベル調整について

本機には、ALC(Automatic Level Control:自動録音レベル調整)回路が内蔵されていますので、自動的に適正なレベルで録音されます。

音量ジョグダイヤルを調節したり、サウンドボタン、重低音ボタンを押して音響効果を変えても録音には影響しません。

簡単1曲録音 [CD] ⇨ [テープ] (この曲ワンタッチ録音)

ボタンを1つ押すだけで、お好みの1曲だけを録音することができます。

録音したいCD曲の演奏中に、倍速または定速ボタンを押す。

あとは自動的に動作します。

- ① CDは演奏中の曲の頭に戻って一時停止します。
- ② テープに無音部分を5秒間(倍速では2.5秒間)つくりまします。録音は正方向で行なわれます。
- ③ CD演奏がスタートし、テープ録音が始まります。
- ④ 曲が終わると、CDもテープも停止します。

CDを途中から録音するときは

CD演奏中に、45ページの**3,4**の操作をするそこからCD録音が始まります。

● 停止ボタンを押して録音を途中でやめたり、テープが全部巻き取られて自動的に停止すると、CD演奏も自動的に止まります。

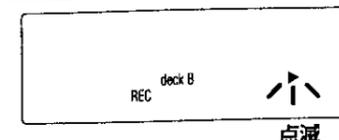


ちょっとこれを!

● 録音中に、CDのサーチ操作 [32ページ] をしますと、サーチ中のモニター音が録音されてしまいます。この場合は、[録音 / 録音・一時停止(正方向)] ボタンを押してからサーチしてください。

マニュアル録音を一時停止するとき

[録音 / 録音・一時停止(正方向)] ボタンを押す



点滅

- ワンタッチ録音、バックスキップエディット録音、マニュアルエディット録音のときは、一時停止できません。
- テープ録音中は、テープAも同時に止まります。

再び録音状態にするには

[再生(正)] ボタンを押す

録音のときにビート音ができるときは

ラジオ・テレビ音声を録音中、ビート音(「ビー」という音)が入ることがあります。このようなときは、次の操作を行ってください。

1 メモリーボタンを押す
[PGM] 表示が点滅します。

2 [PGM] 表示が点滅している間に、スキップ/サーチボタンの▶▶を押す
ボタンを押すたびに表示が変わります。
ビート音の少なくなる表示を選びます。

bc-1 → bc-2 → bc-3
↑

● 長時間CDを録音するときは、できるだけAC電源を使用することをおすすめします。

録音する 留守録音

番号は操作手順を示します。

一度設定すれば、毎日同時刻の番組を留守録音することができます。

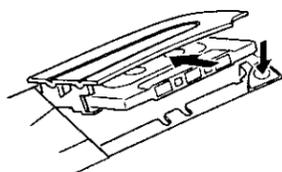
- 設定の流れ**
- 放送局を選ぶ
 - ON時刻を設定する
 - OFF時刻を設定する
 - ロックモードを選ぶ
 - 電源を切る

留守録音を設定する前に

ご希望の放送局を受信します。

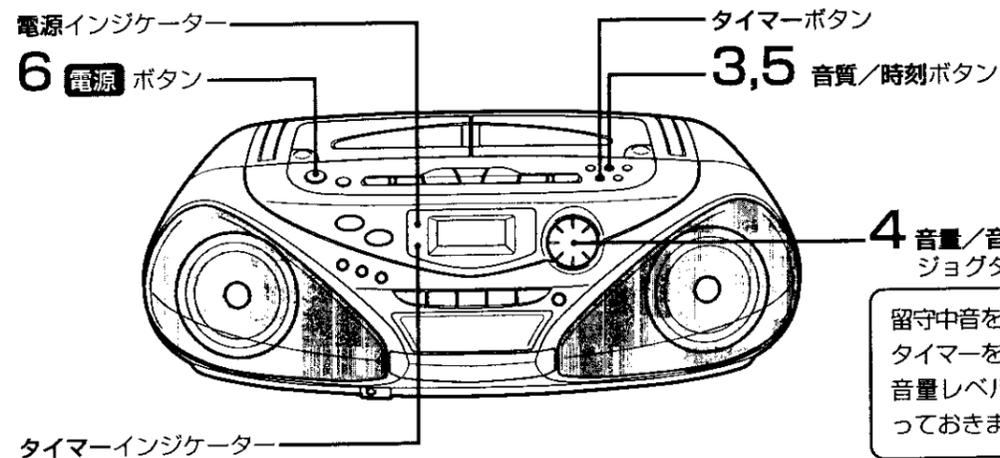
28, 37ページ

テープBに録音するテープを入れ、カセットぶたを閉めます。



受信モードを決めます。

38ページ



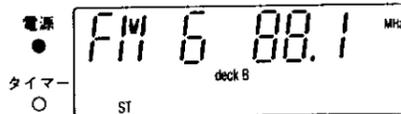
留守中音を出さないため、タイマーを設定する前に、音量レベルを最小にしぼっておきます。

(例) 14:45(午後2時45分)から15:15(午後3時15分)までFM放送を留守録音します。

1

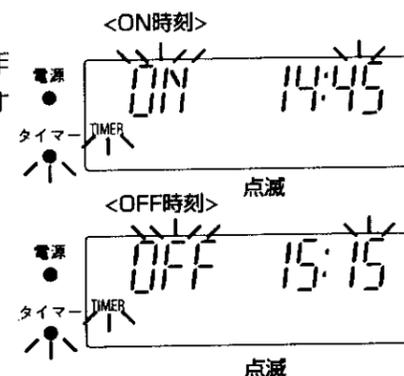
留守録音する放送局を受信します
「マニュアル(手動)選局」「オートスキャン(自動)選局」**28ページ** または「プリセット選局」**37ページ** をします。

(例) FM 放送のプリセット番号6の88.1MHzを受信



2

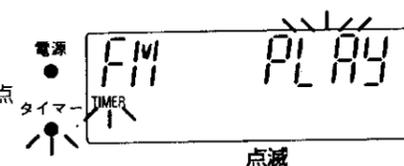
51~52ページの**2~8**の操作をしてON時刻とOFF時刻を設定する



3

時刻ボタンを押す

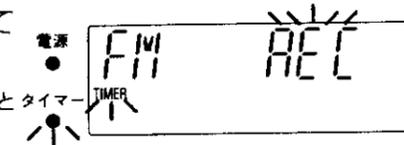
これでOFF時刻の設定が終わりました。プレイモード(「PLAY」または「REC」)が点滅し、バンドが表示されます。



4

タイマージョグダイヤルを回して「REC」を選ぶ

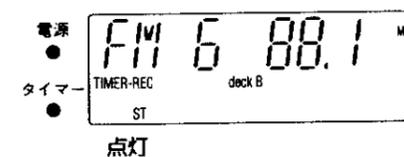
● ジョグダイヤルを回すと「PLAY」(演奏)と「REC」(録音)が交互に表示されます。



5

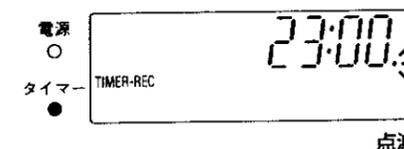
時刻ボタンを押す

点滅が止まり元の表示に戻ります。



6

電源 ボタンを押す
電源を切ります。



これで留守録音の設定が全て終わりました。

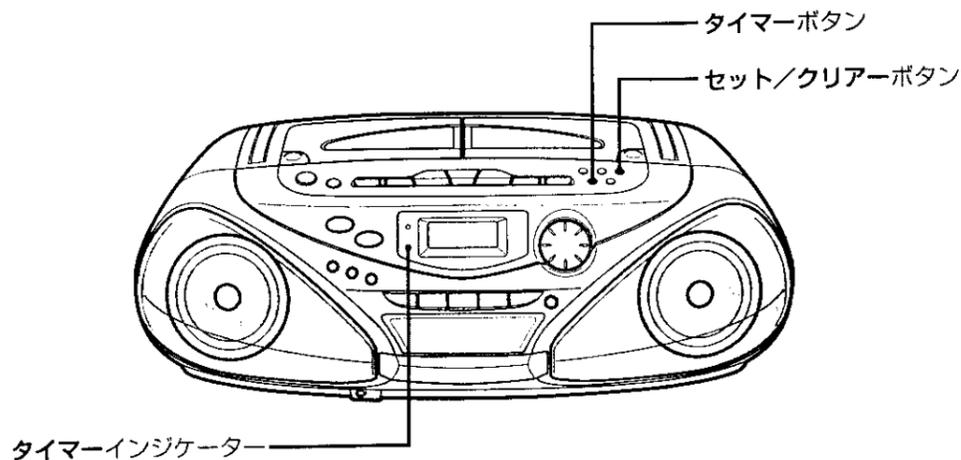
◆ タイマーON時刻が来ると、自動的に設定した内容で電源が入り、録音を始めます。

- 留守録音の動作中は、タイマーインジケータと表示部の「TIMER-REC」表示が点滅します。
- 誤消去防止用のツメが折られたテープでは録音されません。

タイマーOFF時刻になれば、電源が切れ、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。

翌日以降のタイマー録音が不要なときは「留守録音の解除」**49ページ** によって設定を解除してください。

録音



留守録音後、誤って録音されることを防ぐために

設定された留守録音の内容で、毎日録音するような場合、誤って前の録音を消去してしまわないよう、1回の録音が終わったら、必ずテープを入れ替えてください。

留守録音の内容を確認する

電源を入れた状態で、

- 1** タイマーボタンを押す。
ON時刻が10秒表示されます。
- 2** 10秒以内にタイマーボタンを押す。
OFF時刻が10秒表示されます。
- 3** 10秒以内にタイマーボタンを押す。
ファンクションモードとプレイモード(「REC」)が10秒間表示されます。
- 4** タイマーボタンを押すか、10秒以上経過すると元の表示に戻ります。

留守録音の解除

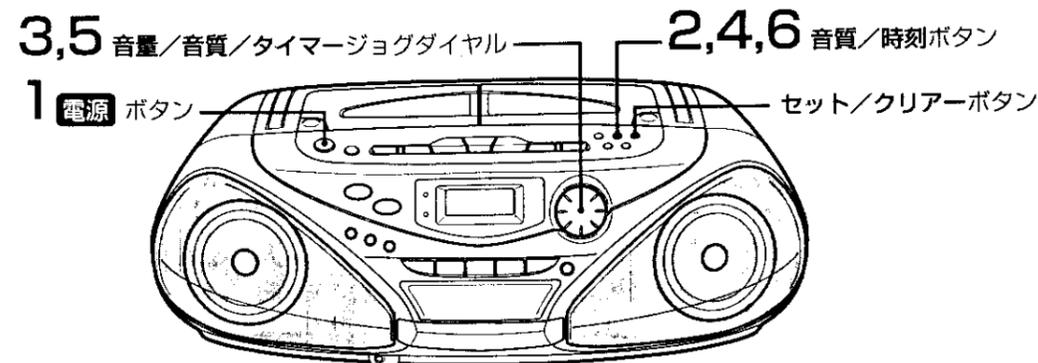
留守録音を解除します。

電源を入れた状態で、

- 1** タイマーボタンを押す。
ON時刻が10秒表示されます。
 - 2** 10秒以内にセット/クリアーボタンを押す。
表示部の「TIMER-REC」表示とタイマーインジケータが消え留守録音が解除されます。
- 表示部の「TIMER-REC」表示とタイマーインジケータを見て、留守録音が解除されているか、設定されているかを確認してください。
 - 留守録音を解除した状態から、もう一度設定するときは47～48ページの1～6の操作をしてください。

誤操作を避けるため、電源を切った状態(表示部が時刻表示のみ)で行なうことをおすすめします。
時計の表示は、24時間表示になっています。

- 12時間表示に切り換えることもできます。(「時計の24 ↔ 12時間表示の切り換え」53ページ)



(例) 18:30(午後6時30分)に合わせるとき

1		電源が入っているときは 電源 ボタンを押して電源を切る 時刻表示のみになります。	0:00 点滅
2		時刻ボタンを押す 「時」が点滅します。	0:00 点滅
3		タイマージョグダイヤルを回す 「時」を合わせます。	18:00
4		時刻ボタンを押す 「分」が点滅します。	18:00 点滅
5		タイマージョグダイヤルを回す 「分」を合わせます。	18:30
6		時刻ボタンを押す 秒インジケータが点滅し始め、時計がスタートします。	18:30 点滅

設定を途中でやめるときは…

セット/クリアーボタンを押す
設定前の時刻を継続表示します。

時刻を正確に合わせるには…

1～5までの操作をしたあと、電話の時報サービスなどを聞きながら**6**の時刻ボタンを押します。

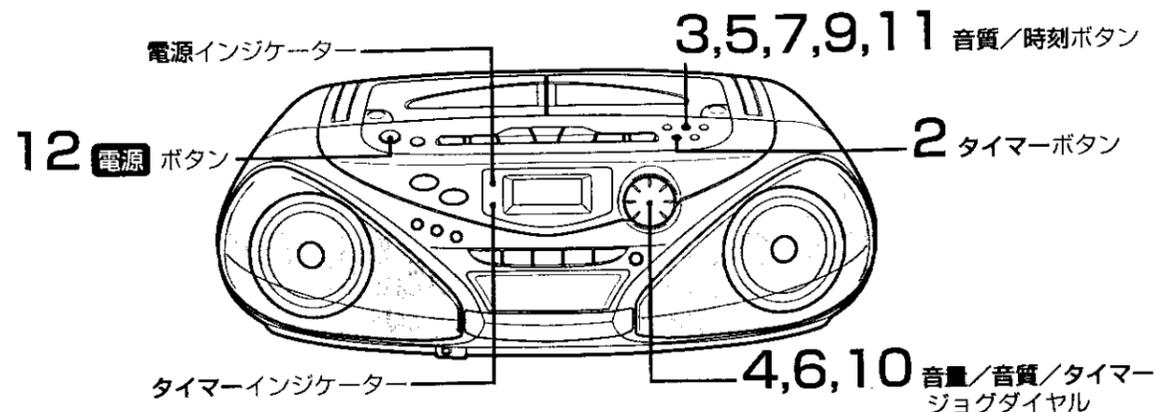
- 最初に電源を入れたときは「0:00」からスタートします。

タイマーの使いかた

番号は操作手順を示します。

お好みの時間に動作させることができます。例えば、目覚まし時計代わりにCD/テープ/ラジオ・テレビ音声を鳴らすことができます。

- タイマーを設定する前に、必ず現在時刻を合わせてください。(「時計の合わせかた」[50ページ](#))



(例) 7:30(午前7時30分)から、8:15(午前8時15分)までFM放送を聞きます。

- タイマー動作をさせたいファンクションにする
 ラジオ・テレビ音声のとき・聞きたい放送局を受信します。[28,37ページ](#)
 CDのとき………通常演奏 → ディスクを入れます。/プログラム演奏 → [29~30ページ](#)
 /くり返し演奏 → [31ページ](#)
 テープのとき………テープを入れ、テープA/B、リバースモードを選びます。[34~35ページ](#)
 リレー再生 → [33ページ](#)
 ● 目覚ましとしてお使いになるときなど、使用目的に応じて音量をお好みに調節しておいてください。
- タイマーボタンを押す
 ON(スタート)時刻が表示部に現われます。
- 時刻ボタンを押す
 「時」、「ON」、「TIMER」表示とタイマーインジケータが点滅します。
- タイマー jog ダイヤルを回す
 「時」を合わせます。
- 時刻ボタンを押す
 「分」が点滅します。

- タイマー jog ダイヤルを回す
 「分」を合わせます。
- 時刻ボタンを押す
 OFF(終了)時刻が表示部に現われます。
 「時」、「OFF」、「TIMER」表示とタイマーインジケータが点滅します。
- 4~6と同じ操作でOFF時刻を設定する
- 時刻ボタンを押す
 これでOFF時刻の設定が終わりました。
 プレイモード(「PLAY」または「REC」)が点滅し、現在のファンクションモード(ラジオの場合はバンド)が表示されます。
- タイマー jog ダイヤルを回して
 「PLAY」を選ぶ
 ● jogダイヤルを回すと「PLAY」(演奏)と「REC」(録音)が交互に表示されます。
- 時刻ボタンを押す
 タイマー設定終了。
 「TIMER」表示とタイマーインジケータが点滅し、表示部は通常の表示に戻ります。
- 電源ボタンを押す
 電源を切ります。

ON時刻になると設定したファンクションで動作し始めます。

- タイマーインジケータと表示部の「TIMER」表示が点滅します。
- タイマー動作中に電源ボタンを押して電源を切ると、タイマー待機状態になります。

OFF時刻になると自動的に電源は切れ、動作を終了します。

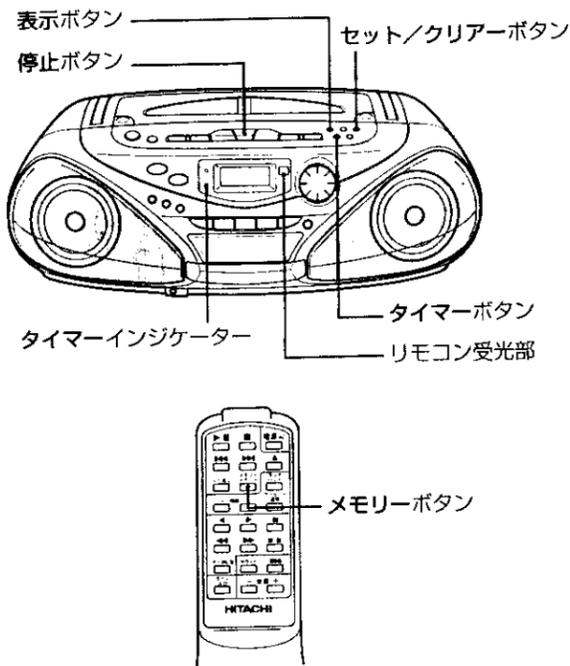
- OFF時刻を過ぎると、タイマー待機状態になります。タイマーを解除しない限り、毎日同じ時間に動作します。
- 翌日以降のタイマー動作が不要なときは「タイマーの解除」[53ページ](#)によって、タイマー設定を解除してください。

設定を途中でやめるときは…
 セット/クリアーボタンを押す

時計部

タイマーの使いかた (つづき)

番号は操作手順を示します。



タイマーの解除/タイマーの再設定

タイマーを解除します。

電源を入れた状態で、

- 1 タイマーボタンを押す。
ON時刻が10秒表示されます。
- 2 10秒以内にセット/クリアーボタンを押す。
表示部の「TIMER」表示とタイマーインジケータが消えタイマーが解除されます。

- 表示部の「TIMER」表示とタイマーインジケータを見て、タイマーが解除されているか、設定されているかを確認してください。
- タイマーを解除した状態からもう一度設定するときは、51～52ページの1～12の操作をしてください。

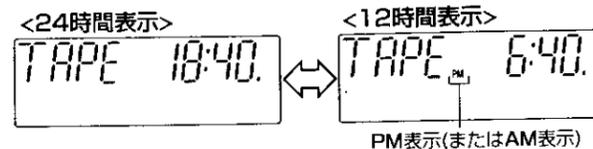
タイマーの内容を確認する

電源を入れた状態で、

- 1 タイマーボタンを押す。
ON時刻が10秒表示されます。
- 2 10秒以内にタイマーボタンを押す。
OFF時刻が10秒表示されます。
- 3 10秒以内にタイマーボタンを押す。
ファンクションモードとプレイモード(「PLAY」)が10秒間表示されます。
- 4 タイマーボタンを押すか、10秒以上経過すると元の表示に戻ります。

時計の24 ↔ 12時間表示の切り換え

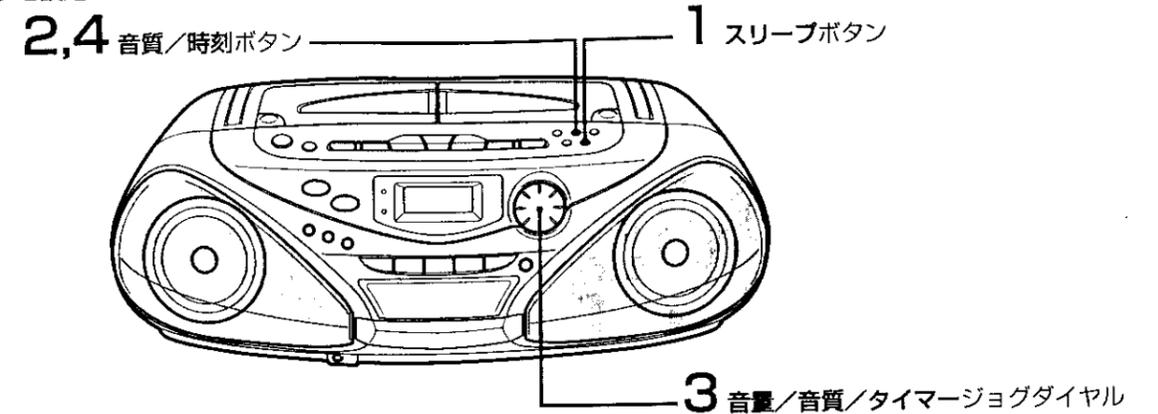
- 1 停止ボタンを押す。
ファンクションモードがテープになります。
- 2 表示ボタンを押す。
ファンクションモードと時刻が表示されます。
- 3 10秒以内にリモコンのメモリーボタンを押しながら、本体の停止ボタンを押す。
24時間表示と12時間表示が切り換わります。
● このとき、リモコンとリモコン受光部の間を手でさえぎらないでください。



スリープの使いかた

番号は操作手順を示します。

スリープを設定しておく、CDやテープ、ラジオ・テレビ音声を聞きながら眠っても自動的に電源が切れます。



例) CDを30分間スリープで聞くと

1		スリープボタンを押す 「SLEEP」表示と前回設定したスリープ時間が表示されます。	
2		スリープ時間が表示されている間に時刻ボタンを押す 「SLEEP」表示とスリープ時間が点滅します。	
3		タイマー jog ダイヤルを回す ご希望のスリープ時間を設定します。 (10～120分までの10分間隔で設定できます。)	
4		時刻ボタンを押す 設定終了。	

スリープが動作し始める

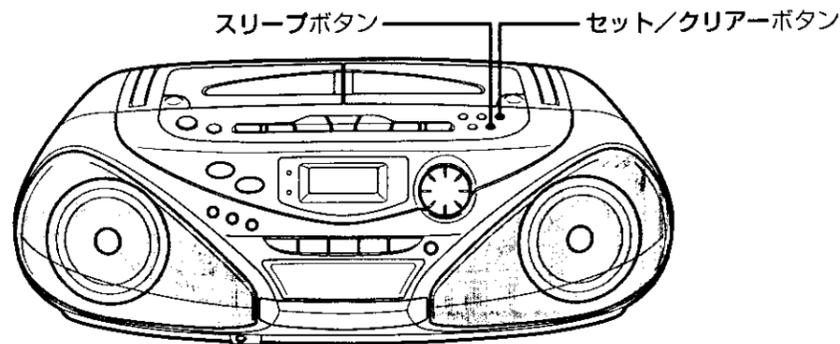
「SLEEP」表示が点滅します。

- スリープ時間が過ぎると電源が切れます。
- スリープ動作中にスリープボタンを押すと、残り時間が表示されます。

時計部

スリープの使いかた (つづき)

番号は操作手順を示します。



スリープの解除/スリープの再設定

スリープを解除するまたは、すでに設定されている時間でスリープを動作させます。

- 1 スリープボタンを押す。
前回設定したスリープ時間が10秒表示されます。

- 2 10秒以内にセット/クリアーボタンを押す。

この操作でスリープの解除とスリープの再設定がそれぞれ交互に切り換わります。

- 表示部の「SLEEP」表示の有無でスリープが解除されているか、または、設定されているか確認しながら行ってください。
- 電源を切るとスリープは解除されます。

スリープとタイマーの連続動作 (おやすみスリープ → おめざめタイマー)

- 1 「タイマーの使いかた」[51~52ページ]の1~11の操作でおめざめタイマーを設定する。

- 2 「スリープの使いかた」[54ページ]の1~4の操作でおやすみスリープを設定する。
● スリープ終了後、タイマー待機状態になります。

スリープとタイマー、それぞれ違うファンクションを設定することができます。

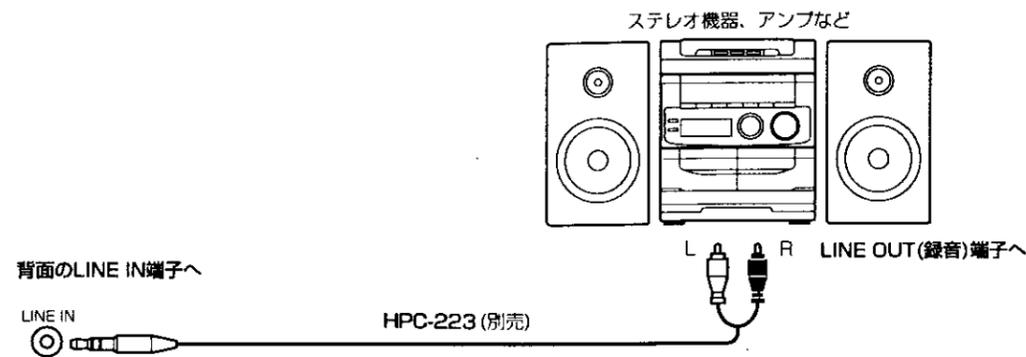
他の機器を接続して使う

番号は操作手順を示します。

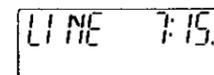
接続上のご注意

- 接続する前に、各機器の電源を切っておいてください。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って。
- 接続コードはしっかり差し込んでください。
- くわしい操作は各機器の説明書をごらんください。

ステレオ機器の音を聞いたり録音するには(リモコン操作のみ)

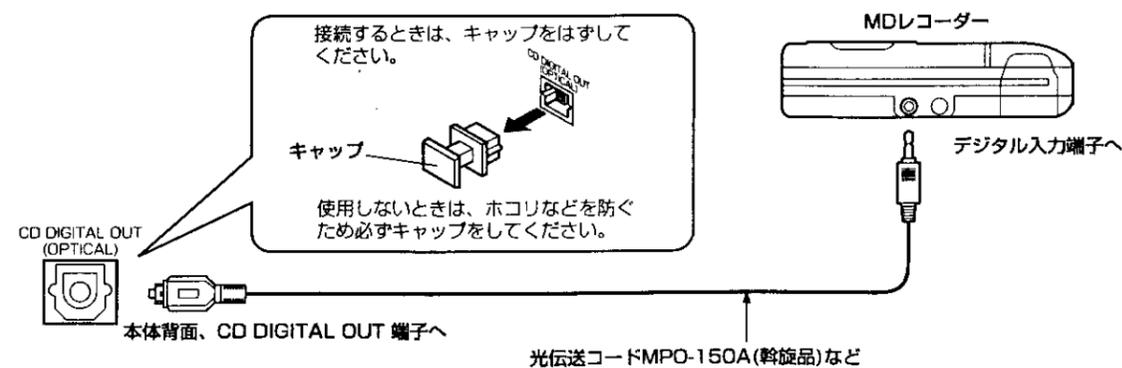


- 1 リモコンのライン(入力)ボタンを押す。
「LINE」を表示させます。 ◆ 録音するには、テープBにテープを入れ、録音状態にします。



- 2 接続した機器を演奏状態にする。

MDレコーダーへ録音するには



- 1 停止/クリアーボタンを押す。
CDファンクションにします。
- 3 本機のCDを演奏状態にする。

- 2 MDレコーダーを録音可能状態にする。
(MDレコーダーに付属の取扱説明書をごらんください。)

ご注意
CD DIGITAL OUT端子からは、CDのデジタル信号のみを出力します。
テープおよびラジオ・テレビ音声をこの端子から録音することはできません。

故障?その前にちょっとこれを!

操作を誤っていてもなかなか気がつかず、すぐ故障と思いがちですが、修理にお持ちになる前にもう一度次の点をお確かめください。それでも異常のある場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店へご連絡ください。

こんなときは		ここをお確かめください
CD関係	演奏がはじまらない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの位置がズれていませんか? [24ページ] ● ディスクを表裏逆に入れていませんか? [24ページ] ● ディスクに露がついていませんか? [24ページ] ● ディスクに傷がありませんか? [24ページ] ● ディスクを2枚重ねにしていませんか? [24ページ]
	特定の箇所が正しく演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが汚れていませんか? [24ページ] ● ディスクに傷がありませんか? [24ページ]
テープ関係	録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● テープの誤消去防止用のツメが折れていませんか? [25ページ]
	自動頭出しでテープが停止しない	<ul style="list-style-type: none"> ● テープに無録音部分がつくられていますか? [34ページ] ● 無録音部分のスペースが約4秒以内になっていませんか? [34ページ] ● 曲間に雑音などが録音されていませんか? [34ページ]
その他	操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機が露付き状態になっていませんか? [24ページ] (約1時間待ってから操作してください) ● 電源を乾電池にしたとき、電源コードが本体に差し込まれたままになっていませんか? [17ページ]
	タイマーが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源が入ったままになっていませんか? [電源] ボタンを押して電源を切る [52ページ]
リモコン関係	リモコンで操作できない、または操作できても正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池は正しく挿入されていますか? [19ページ] ● 乾電池が消費していませんか? [19ページ] ● CDやテープはセットされていますか? [24~25ページ] ● リモコンと本体との距離が離れすぎていたり、途中で障害物がありますか? [19ページ] ● リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に正しく向けていますか? [19ページ] ● リモコンの受光部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)が当たっていませんか? [19ページ]

- お願い**
- 表示や動作が異常になった場合は、単1形乾電池と時計/メモリーバックアップ用乾電池をはずし、電源コードをコンセントから抜いてください。まもなく表示が消えますので、その後約3分程度待ってから再度電源コードをコンセントに差し込み、乾電池を元通りに入れ操作を直してください。この場合、時計や各種メモリーを設定し直してください。
 - 単1形乾電池が消耗すると、「テープが動作しない」、「CD演奏中に動作しなくなる」、「動作中に電源が自動的に切れる」などの状態になることがあります。このような場合は、新しい乾電池に交換するか、AC電源で操作してください。

保証とアフターサービス(必ずお読みください。)

修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、「故障?その前にちょっとこれを!」(57ページ)をお調べください。それでも不具合いな場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

- ①形名: CX-W270形
- ②症状: できるだけ詳しく

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けれなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取り扱い店を紹介させていただきます。

アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

キャビネットのクリーニングについて

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石けん水を少し布につけてふきとり、からぶきしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。



保証について

- この商品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

テープヘッド部の清掃についてのお願い

テープを再生または録音すると……

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状が出た場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングテープをお買い求めの上、ヘッド部の清掃をしてください。清掃はできるだけ早目に(約10時間程度使用ごとに)行なってください。

ヘッドの消磁

長い間使用していると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。市販のイレーサー(消磁器)をお買い求めの上、定期的にヘッドの消磁をしてください。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

著作権について

■著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

たとえば、

- 放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり、配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードや録音物またはそれから録音したテープや、放送から録音したテープを営利（店のBGMなど）のために使用すること。これらの場合には著作権法上権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会（JASRAC）」もしくは各支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）
〒105 東京都渋谷区上原3-6-12
TEL (03) 3481-2121 (代表) FAX (03) 3481-2150

- 北海道支部（業務地域 北海道）
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311
- 盛岡支部（業務地域 岩手・青森・秋田）
〒020 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL (019) 652-3201 (代表) FAX (019) 652-4010
- 仙台支部（業務地域 宮城・山形・福島）
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706
- 長野支部（業務地域 長野）
〒380 長野市南千歳2-12-1 日本団生命生命長野ビル
TEL (026) 225-7111 (代表) FAX (026) 223-4767
- 大宮支部（業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟）
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567
- 上野支部（業務地域 東京都23区の城東地区・茨城）
〒110 東京都台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL (03) 3832-1033 (代表) FAX (03) 3832-1040

- 東京支部（業務地域 東京都23区の東部・千葉）
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457
- 西東京支部（業務地域 東京都23区の西部）
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798
- 東京イベント・コンサート支部（業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨）
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 5286-1671 (代表) FAX (03) 5286-1670
- 立川支部（業務地域 東京都の市・郡部・山梨）
〒190 立川市曙町2-22-20 立川センタービル
TEL (0425) 29-1500 (代表) FAX (0425) 29-1515
- 横浜支部（業務地域 神奈川県）
〒231 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548
- 静岡支部（業務地域 静岡県）
〒420 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル
TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285
- 中部支部（業務地域 愛知・岐阜・三重）
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594
- 北陸支部（業務地域 石川・富山・福井）
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602 (代表) FAX (0762) 21-6109
- 京都支部（業務地域 京都・滋賀・奈良）
〒600 京都市下京区四條通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414
- 大阪支部（業務地域 大阪南部・和歌山）
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351 (代表) FAX (06) 244-1970
- 大阪北支部（業務地域 大阪北部）
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970
- 神戸支部（業務地域 兵庫県）
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII
TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975
- 中国支部（業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396
- 四国支部（業務地域 香川・徳島・高知・愛媛）
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083
- 九州支部（業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218
- 鹿児島支部（業務地域 鹿児島・宮崎）
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (099) 224-6211 (代表) FAX (099) 224-6106
- 那覇支部（業務地域 沖縄）
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074

仕様

CDプレーヤー部	
ワウ・フラッター	測定限界以下
サンプリング周波数	44.1kHz
復号化	16ビット直線
エラー訂正方式	CIRC
ピックアップ	(クロスインターリーブリードソノモコード) 光学式3ビーム半導体レーザー (波長790nm)

テープレコーダー部	
トラック方式	4トラック 2チャンネル ステレオ
録音方式	交流バイアス(テープB)
消去方式	交流消去(テープB)
テープ速度	4.8cm/秒
早送り・巻き戻し時間	110秒(C-60)(テープA) 110秒(C-60)(テープB)
周波数範囲	40~14,000Hz ノーマルテープ

時計部	
精度	月差 約±30秒(周囲温度15℃にて)
表示方式	時分
電圧	AC 100V, 50/60Hz DC 12V 単1形乾電池 × 8本 DC 6.0V 単3形乾電池 × 4本 (時計/メモリーバックアップ用)

ラジオ部	
受信周波数	TV: 1~3ch FM: 76~90MHz AM: 522~1.629kHz
アンテナ	TV/FM: ロッドアンテナ AM: フェライトアンテナ内蔵

共通部	
スピーカー	10cm 円形 4Ω×2
実用最大出力	5W+5W (EIAJ/AC)
入力端子	LINE IN端子(ステレオミニジャック)×1 入力インピーダンス 47kΩ、 入力 470mV
出力端子	PHONES端子(ステレオミニジャック)×1 インピーダンス 32Ω CD部音声出力<デジタル(光)>端子×1
電池持続時間	(単1形乾電池R20PU(SG)使用時) 約8.5時間(EIAJ・テープ再生時、 ボリューム最大の70%程度) 約14時間(EIAJ・FM録音時、 ボリューム最大の70%程度) 約5時間(CD連続演奏時、 ボリューム最大の70%程度)
電源	AC 100V, 50/60Hz DC 12V, 単1形乾電池 × 8本 DC 6V, 単3形乾電池 × 4本 (時計/メモリーバックアップ用)
消費電力	24W
最大外形寸法	486(幅)×166(高さ)×276.3(奥行)mm (つまみ等突起物含む、ハンドル含まず)
質量	約5.7kg(乾電池を含む)
付属品	電源コード×1、リモコン×1 単3形乾電池×2本(リモコン用)

※上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

